

三菱一号館美術館

MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

No.11

2020 年度 三菱一号館美術館 年報

ANNUAL REPORT OF MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO
APRIL 2020-MARCH 2021



画家が見たこども展
ゴッホ、ポール・セザンヌ、ド・シルヴィアント
2020.2.11日～3.21日 ■ 10:00～17:00
三菱一号館美術館



1894 Visions
ルドン・ロートレック展
2020.2.21日～3.21日 ■ 10:00～17:00
三菱一号館美術館

2020年度 三菱一号館美術館 年報

目 次

三菱一号館・ミッション・活動方針・沿革 2

The Mitsubishi Ichigokan, Mission, Activities, History 3

展覧会概要

開館10周年記念 画家が見たこども展 ゴッホ、ボナール、ヴュイヤール、ドニ、ヴァロットン 4

Enfances rêvées, Bonnard, les Nabis et l'enfance 5

広報活動・教育普及プログラム 7

出品目録 8

開館10周年記念 1894 Visions ルドン、ロートレック展 14

1894 Visions: Odilon Redon and Henri de Toulouse-Lautrec 15

広報活動・教育普及プログラム 17

出品目録 18

教育普及活動 28

MSS（三菱一号館美術館サポーター制度） 29

施設活動報告

Café 1894 展覧会タイアップメニュー 29

Store 1894 展覧会オリジナルグッズ 30

開館10周年企画 30

歴史資料室 特別展示 31

2020年度トピック

「あつまれ どうぶつの森」にて当館作品画像の公開やバーチャルミュージアムの試みを実施しました 32

「新しい私書店」4周年記念 本を巡るスタンプラリー実施 32

新型コロナ感染症による休館中の日仏英三か国語作品解説インスタグラム発信 32

星野源「うちで踊ろう」による所蔵品紹介動画公開 33

思いやりウィーク 34

東京駅周辺美術館連携 34

三菱創業の岩崎家ならびに三菱ゆかりの文化施設 34

コロナ禍での中止、延期 34

2020年度企業会員一覧 35

三菱一号館

「三菱一号館」は、1894(明治27)年、開国間もない日本政府が招聘した英国人建築家ジョサイア・コンドルによって設計され、三菱が東京・丸の内に建設した初めての洋風事務所建築です。全館に19世紀後半の英國で流行したクイーン・アン様式が用いられています。当時は館内に三菱合資会社の銀行部が入っていたほか、階段でつながった三階建ての棟割の物件が事務所として貸し出されていました。この建物は老朽化のために1968(昭和43)年に解体されましたが、40年あまりの時を経て、コンドルの原設計に則って同じ地によみがえりました。今回の復元に際しては、明治期の設計図や解体時の実測図の精査に加え、各種文献、写真、保存部材などに関する詳細な調査が実施されました。また、階段部の手すりの石材など、保存されていた部材を一部建物内部に再利用したほか、意匠や部材だけではなく、その製造方法や建築技術まで忠実に再現するなど、さまざまな実験的取り組みが行われています。19世紀末に日本の近代化を象徴した三菱一号館は、2010(平成22)年春、東京・丸の内のアイコン、三菱一号館美術館として生まれ変わりました。

ミッション

- ・街に開かれた美術館として、そこで働く人々、訪れる人々の利便性を重視し、「都市生活の中心としての美術館」という視点で運営を行います。
- ・国内外の美術館や周辺の文化施設との連携・ネットワークを築きながら、長期的・国際的な視野での美術館活動を目指します。
- ・明治期に原設計された建物と収蔵作品の特性に配慮し、近代市民社会、産業社会の原点ともいべき19世紀の近代美術を中心とした展覧会を開催します。
- ・変貌する現代の美と歴史的美の系譜との結節点を求めて、学術的意義の深い展覧会を、新たな切り口で展開していきます。

活動方針

- ・展覧会の開催(年3回)
- ・美術作品の収集、保存、公開、調査・研究
- ・教育普及活動の実施*
- ・展覧会に関連したイベントの実施
- ・近隣の美術館、社会教育機関との連携

* 教育普及活動の理念・特色については 28 ページ参照

沿革

2006 年 6 月 1 日	三菱地所(株)が丸の内において「三菱一号館」を復元し、美術館として活用することを発表
10 月	高橋明也が「三菱一号館美術館」館長として就任
2007 年 2 月 1 日	三菱地所(株)が「三菱一号館美術館」計画概要を発表
2 月 5 日	「三菱一号館」着工
4 月 1 日	三菱地所(株)街ブランド企画部内に「美術館開設準備室」を新設
2008 年 6 月 11 日	「三菱一号館美術館」のロゴマークが決定
2009 年 4 月 8 日	フランス南西部アルビ市「トゥールーズ=ロートレック美術館」と姉妹館提携
4 月 30 日	「三菱一号館」復元竣工
7 月 1 日	三菱地所(株)が「三菱一号館美術館」運営計画を発表
9 月 3 日	「三菱一号館」において竣工記念展「一丁倫敦と丸の内スタイル」展開催(2010年1月11日まで)
2010 年 4 月 1 日	三菱地所(株)内に「美術館室」を新設
4 月 6 日	「三菱一号館美術館」開館。「マネとモダンパリ」展開催(7月25日まで)
2011 年 11 月	西洋美術振興財団賞「文化振興賞」受賞
2013 年 5 月 31 日	「KATAGAMI Style」展が第1回ジャポニスム学会展覧会賞を受賞
2016 年 5 月 9 日	「画鬼・暁斎—幕末明治のスター絵師と弟子コンドル」展が第4回ジャポニスム学会展覧会賞を受賞
2020 年 4 月 6 日	「三菱一号館美術館」開館10周年
2020 年 8 月 31 日	高橋明也が「三菱一号館美術館」館長を退任
2020 年 9 月 1 日	木村恵司が「三菱一号館美術館」館長として就任

The Mitsubishi Ichigokan

The Mitsubishi Ichigokan was designed in 1894 by the English architect Josiah Conder at the invitation of the Japanese government not long after the country had ended a long period of national seclusion. The structure, erected by Mitsubishi as the first Western-style office building in Tokyo's Marunouchi district, makes use of the Queen Anne style of architecture that was popular in England in the late 19th century. In addition to housing the banking department of Mitsubishi's headquarters, the three-story building, linked by stairs, was rented out for use as office space. Having aged significantly, the original structure was torn down in 1968, and now, some 40 years later, it has been reconstructed on the same lot according to Condens original plans. As part of the restoration project, along with a review of the Meiji-era blueprints and survey maps dating from the buildings dismantling, extensive surveys of various documents, photographs, and extant structural components were conducted. In addition to reusing some of the buildings interior components, such as the handrails for the staircases, the structure was reproduced as faithfully as possible down to the use of specific building methods and architectural techniques. The Mitsubishi Ichigokan, symbolizing the modernization of Japan in the late 19th century, has been reborn as the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, an icon of Tokyo's Marunouchi district, in 2010.

Mission

- As a museum located in the heart of Tokyo, we place a special value on the accessibility for both workers and visitors, and pledge therefore to serve as a museum at the center of urban life.
- While building networks with numerous museums around the world and other cultural facilities in the surrounding area, we develop our activities on a longterm basis in an international setting.
- By paying close attention to the classical features of the building and our collection of works, we seek to present exhibitions which focus on the 19th century modern art signifying the sources modern society.
- By searching for links between the dynamic contemporary beaty and the inherited historical beauty, we provide new perspectives on art to the wide range of people.

Activities

- Thematic exhibitions (3 per year)
- Collection, preservation, display, surveying and study of works of art
- Education programs*
- Events related to exhibitions
- Ties with local museums, community centers, and educational institutions

* Refer p.28 for Philosophy and Distinctive Features of Education Programs.

History of the Mitsubishi Ichigokan Museum

June 1, 2006	Mitsubishi Estate Co., Ltd. announces it will rebuild the MitsubishiIchigokan in the Marunouchi dist rict for use as an art museum.
October 2006	Akiya Takahashi is appointed as director of the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo.
February 1, 2007	Mitsubishi Estate outlines its plans for the Museum.
February 5, 2007	Work starts on the Mitsubishi Ichigokan building.
April 1, 2007	Mitsubishi Estate establishes a Museum Pre-Opening Office in the Area Brand Management Department.
June 11, 2008	Mitsubishi Estate announces the Museum logo.
April 8, 2009	A sister museum agreement is signed with the Toulouse-Lautrec Museum in Albi, southwestern France.
April 30, 2009	The reconstruction of Mitsubishi Ichigokan is completed.
July 1, 2009	Mitsubishi Estate announces its management plan for the Museum.
September 3, 2009	The exhibition " <i>Icho London and the Marunouchi Style</i> " is held in the building to commemorate its completion (until January11, 2010).
April 1, 2010	Mitsubishi Estate establishes a Museum Management Office.
April 6, 2010	The Mitsubishi Ichigokan Museum officially opens.
November 2011	The inaugural exhibition " <i>Manet and Modern Paris</i> " is held until July 25.
May 31, 2013	The "KATAGAMI Style" received the Award of the Society for the Study of Japonisme for its contribution to cultural exchange among Japonisme, Japan and foreign countries.
May 9, 2016	" <i>KYOSAI-Master Painter and his student Josiah Conder</i> " received the fourth Award of the Society for the Study of Japonisme for its contribution to cultural exchange among Japonisme, Japan and foreign countries.
April 6, 2020	The Mitsubishi Ichigokan Museum,Tokyo 10th anniversary.
August 31, 2020	Akiya Takahashi leaves his post as director of the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo.
September 1, 2020	Keiji Kimura is appointed as director of the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo.

開館10周年記念 画家が見たこども展 ゴッホ、ボナール、ヴュイヤール、ドニ、ヴァロットン

三菱一号館美術館では、丸の内に位置する美術館として、2010年の開館以来「都市と芸術」に着目した展覧会を数多く行ってきた。また、旧三菱一号館を復元した小部屋が連なる建物の特性を生かした、親密なテーマの展覧会も当館の特徴のひとつとなっている。本展は、三菱一号館美術館が開館10周年を迎えることを記念し、19世紀末パリの前衛芸術家グループ「ナビ派」の画家たちが追求した親密なテーマのなかから「子ども」に焦点を当て、都市生活や近代芸術と「子ども」との関係を検証するものである。

全体の構成は、「プロローグ:「子ども」の誕生」、「1. 路上の光景・散策する人々」、「2. 都市の公園と家族の庭」、「3. 家族の情景」、「4. 挿画と物語・写真」、「エピローグ: 永遠の子ども時代」の6章からなる。南フランス、ル・カネのボナール美術館館長であり本展監修者であるヴェロニク・セラノの尽力により、フランス、スイス、アメリカ等をはじめとする世界各国の美術館や個人所蔵家の元から、「ナビ派」を中心とした油彩・版画・素描・挿絵本・写真などおよそ100点が出品された。

本展は、ピエール・ボナールを中心に、エドゥアール・ヴュイヤールやモーリス・ドニ、フェリックス・ヴァロットン、アリストイード・マイヨールなど、近年世界的にも再評価が進みつつある「ナビ派」の作品を、「子ども」というテーマに沿って取り上げた初の試みとなった。西洋絵画の歴史ではロマン主義以降本格的に扱われるようになった「子ども」の主題は、街路の情景、公園や私的な庭、家族のいる室内や肖像画など、日常生活の一隅や親密な世界を描いたナビ派にとってごく身近にいる観察対象であった一方、彼らにとって「子ども」はその純粹さや素朴さ、そして自由さによって、大人によって固定された古い価値観から解き放たれ、新たな芸術を模索するための重要な存在となり得たのである。

ボナール美術館と共に企画した本展の構成に対して、当館の展覧会では前後にあえて二つの章加えた。

そのプロローグでは後にナビ派によって発現する新たな子ども表現の萌芽を1880年代の作品を通じて示し、一方エピローグではナビ派を経た後のボナールが到達した地平にまで視野を広げることができた。

展覧会は、コロナ禍の緊急事態宣言の発令により開幕直後の中断を余儀なくされたものの、各所蔵先および内外の関係者の様々な尽力によって、幸いにも再開館と会期延長を果たした。教育普及活動として監修者セラノ氏の記念講演会に加え、担当学芸員によるオンラインミニレクチャーを計3回実施した。また、臨時休館中に行なったSNSによる作品・作家解説の発信や展覧会場からの動画配信、ゲーム「あつまれ どうぶつの森」との連携ほか多岐にわたる工夫は、開館10年の節目の年において、今後の美術館活動の新たな可能性を示すこととなった。

会 期：2020年2月15日(土)～2020年2月27日(木)
2020年6月9日(火)～2020年9月22日(火・祝)[108日間]
※2月28日～6月8日 新型コロナ感染拡大により臨時休館

開館時間：10時～18時(祝日を除く金曜、第2水曜、開館記念日4月6日は21時まで)
※6月9日以降は夜間開館実施せず

休 館 日：月曜休館(祝日、開館記念日4月6日、トーキフリーデーは開館)

主 催：三菱一号館美術館、ボナール美術館(フランス、ル・カネ)、
日本経済新聞社

後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協 賛：大日本印刷

協 力：日本航空、

ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

巡 回 先：ル・カネ、ボナール美術館 2022年7月2日～11月6日
※コロナにより延期

入場者数：33,915人

Enfances rêvées, Bonnard, les Nabis et l'enfance

Since its opening in 2010 in the Marunouchi district, the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, has hosted numerous exhibitions highlighting the relationship between the arts and the city. Another hallmark of the museum is its exhibitions on intimate themes taking advantage of the unique characteristics of the reconstructed former Mitsubishi Ichigokan building, with its connecting small rooms. This exhibition commemorated the tenth anniversary of the museum by examining children in relation to urban life and modern art with a focus on the portrayal of children in the intimate scenes painted by Les Nabis, a group of avant-garde artists active in Paris at the end of the nineteenth century.

The exhibition consisted of six parts: "Prologue: La naissance de l'enfant," "1.Scènes de rue & promenades," "2.Jardins publics & jardins privés," "3. Scènes de famille," "4.Illustrations et contes / Photographies," and "Epilogue:L'enfance éternelle." Thanks to the efforts of Véronique Serrano, Director of the Bonnard Museum in Le Cannet, southern France, and supervisor of the exhibition, approximately 100 works primarily by Les Nabis from museums and private collections in France, Switzerland, the United States, and other countries all over the world including oils, prints, drawings, illustrated books, and photographs were on display.

The exhibition was the first-ever attempt at showcasing the works of Pierre Bonnard and the other Nabis, such as Édouard Vuillard, Maurice Denis, Félix Vallotton, and Aristide Maillol, which have been increasingly reappraised worldwide in recent years, with the theme of "children." Children became full-fledged subjects of Western painting starting with the Romantic movement. For Les Nabis, who painted scenes of everyday life and intimate realms such as streetscapes, parks, private gardens, interior family scenes, and portraits, children were objects of observation in their immediate surroundings. At the same time, children became significant motifs for Les Nabis to explore new forms of art due to their innocence, naïvete, and freedom as they were liberated from the old-fashioned values of adults.

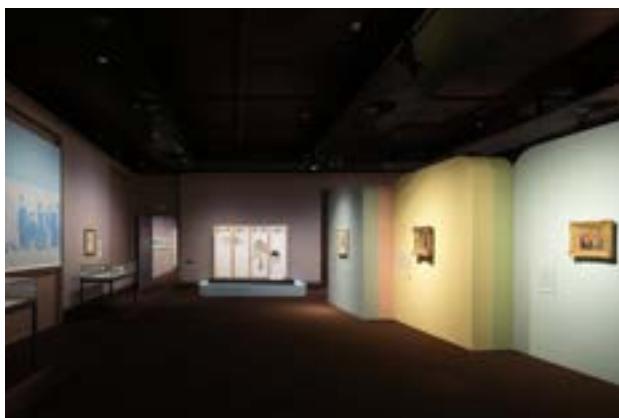
The Mitsubishi Ichigokan Museum added two parts to the beginning and end of the exhibition program, which was planned jointly with the Bonnard Museum. The prologue showcased the emergence of new representations of children that

were further developed by Les Nabis through works from the 1880s, while the epilogue expanded the exhibition's scope to the horizons that Bonnard reached after his time as a member of Les Nabis.

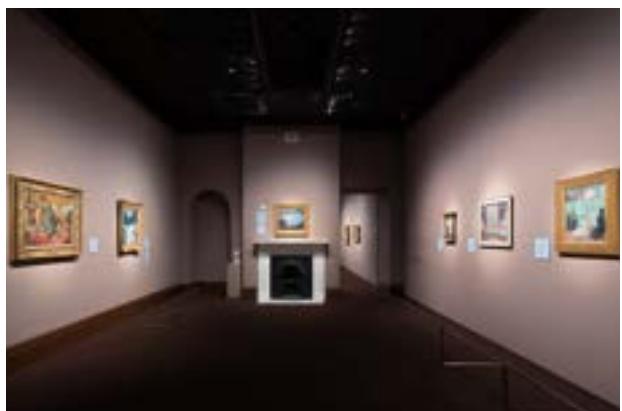
Right after opening, the exhibition was interrupted by the issuance of a state of emergency declaration due to the COVID-19 pandemic. However, the museum was fortunately able to reopen and extend the exhibition period thanks to the various efforts of the owners of the artworks as well as internal and external stakeholders. In addition to a commemorative lecture by exhibition supervisor Ms. Serrano, a total of three online mini lectures by the exhibition curators were held as educational and promotional activities. During the temporary closure, the museum also devised a wide range of initiatives such as sharing information about the artworks and artists via social media, video streaming from the exhibition venue, and collaborating with the game "Animal Crossing™: New Horizons," thereby revealing new possibilities for future museum activities in the milestone year of its tenth anniversary.



展覧会図録表紙



展示風景1



展示風景2



展示風景3



展示風景4



「画家が見たこども展」開催記念講演会



坂本美雨さん、高橋さん、ニコニコ美術館



画家が見たこども展の楽しみ方オンライン講座①



画家が見たこども展の楽しみ方
オンライン講座③

広報活動

媒体掲載件数

合計件数： 359 件
T V : 4 件
ラジオ : 4 件
新聞 : 160 件
雑誌 : 140 件
WEB : 51 件

主要掲載

・T V

NHK・Eテレ 日曜美術館・アートシーン 3月22日 O.A.
BS日テレ ぶらぶら美術・博物館 7月21日 O.A.
NHK・Eテレ 日曜美術館・アートシーン 8月9日 O.A.

・新聞

毎日新聞 2月20日夕刊 文化面 美術欄
東京新聞 2月23日朝刊 文化面 東京人編集部より
朝日新聞 3月3日夕刊 アート面「美の履歴書」
産経新聞 5月21日朝刊 文化面 美術欄
読売新聞 9月3日朝刊 文化面 美術欄

・雑誌

『東京人』 2月号 7ページ+巻頭ぬり絵付録
『ハルメク』 2月号 2ページ
『My Age』 3月号 1ページ
『クウネル』 3月号 1ページ
『家庭画報』 4月号 1ページ

PR 施策

・ニコニコ美術館

日 時：3月12日 19:00～21:00
内 容：臨時休館中の三菱一号館美術館から生中継
出 演：坂本美雨／高橋明也

・インスタグラム投稿

日 時：3月18日～9月18日
アカウント名：三菱一号館美術館公式アカウント
内 容：55作品を日・英・仏語で投稿

教育普及プログラム

・記念講演会「画家が見たこども展」開催記念講演会

日 時：2020年2月15日(土)14:00～16:00
会 場：コンファレンススクエア M+「グランド」
講 師：ヴェロニク・セラノ氏(ボナール美術館 館長)
高橋明也(三菱一号館美術館 館長)
参加者：165名

・with コロナ時代の新しい鑑賞会 人数限定夜間特別鑑賞会

日 時：2020年8月6日(木)18:30～19:30
会 場：三菱一号館美術館展示室
講 師：石神森、前田麻奈実(教育普及担当)
参加者：10名

・画家が見たこども展の楽しみ方オンライン講座

①「ナビ派に見る子どものファッショ」
②「ナビ派に見るおとなのファッショ」
③「ナビ派の画家と子どもたち」
日 時：① 2020年8月4日(火)18:30～19:00
② 2020年8月20日(木)14:00～14:30
③ 2020年9月4日(金) 14:00～14:30
会 場：オンライン
講 師：①②阿佐美淑子
(三菱一号館美術館 主任学芸員)
③杉山菜穂子
(三菱一号館美術館 主任学芸員)
参加者：①256名、②222名、③170名

・Marunouchi Office workers and Fan's NIGHT

[MOF(モフ)NIGHT]
トークイベント「芸術鑑賞と脳 体で感じる美術と音楽」
会 場：オンライン
講 師：中野信子氏
(脳科学者/医学博士/認知科学者、東日本
国際大学 教授/京都芸術大学 客員教授)
聞き手：野口玲一(三菱一号館美術館学芸員)
参加者：126名

画家が見たこども展

ゴッホ、ボナール、ヴュイヤール、ドニ、ヴァロットン

Enfances rêvées, Bonnard, les Nabis et l'enfance

2020年2月15日–6月7日

三菱一号館美術館

主催: 三菱一号館美術館、ボナール美術館(ル・カネ)、日本経済新聞社

後援: 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協賛: 大日本印刷

協力: 日本航空、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

15 février – 7 juin 2020

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

Exposition organisée par: Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo / Musée Bonnard, Le Cannet / Nikkei Inc.

Avec le patronage de: Ambassade de France / Institut français du Japon

Avec la sponsorisation de: Dai Nippon Printing Co., Ltd.

Avec la coopération de: JAPAN AIRLINE / YAMATO GLOBAL LOGISTICS JAPAN CO., LTD.



凡例

- ・作品番号は図録番号に準じており、会場内のキャプション番号とは一致しますが、陳列の順序とは異なります。
- ・外國語の地名・人名・固有名詞は、原則として現地読みに近いカタカナで記しましたが、慣例の読みに従ったものもあります。
- ・展示室の温度、湿度、照度は作品保護に関する國際基準、及び所蔵者の貸し出し条件によって調整されています。
- ・会場内での写真撮影、模写はご遠慮ください。筆記具は鉛筆をご使用ください。
- ・やむを得ない事情により、出品作品が一部変更になる場合があります。

会期中以下の通り展示替えを行います。

no. 7, no. 8 : 前期(2月15日～3月26日)のみ展示

no. 6 : 後期(3月27日～6月7日)のみ展示

また書籍・冊子などの作品につきましては、会期中貢替えを行う場合があります。



Le musée
Bonnard



本展覧会はボナール美術館(ル・カネ)が企画し、三菱一号館美術館(東京)と共同で制作した。
Cette exposition est organisée par le musée Bonnard, Le Cannet, et coproduite avec le musée Mitsubishi Ichigokan, Tokyo.

プロローグ Prologue

「子ども」の誕生
La naissance de « l'enfant »

1

モーリス・ブルー・ド・モンヴェル

ブレのベルナールとロジエ

1883年、油彩・カンヴァス

81.5 × 131.4 cm

パリ、オルセー美術館

Maurice Boutet de Monvel

Bernard et Roger à Bourré

1883, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay

2

ポール・マティ

室内の子どもと女性

1890年頃、油彩・カンヴァス

48.5 × 38 cm

パリ、オルセー美術館

Paul Mathey

Enfant et femme dans un intérieur

vers 1890, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay, don de Mme Dubreuil, 1982

3

ウジェーヌ・カリエール

病める子ども

1885年、油彩・カンヴァス

101 × 82 cm

パリ、オルセー美術館

Eugène Carrière

L'Enfant malade

1885, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay, legs de Mme Eugène Carrière,
veuve de l'artiste, 1922

4

ウジェーヌ・カリエール

画家の家族の肖像

1893年、油彩・カンヴァス

125.5 × 221.5 cm

パリ、オルセー美術館

Eugène Carrière

Portraits - La famille du peintre

1893, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay

5

ピ埃尔・オーギュスト・ルノワール

ジュヌヴィエーヴ・ベルネーム・ド・ヴィレール

1910年、油彩・カンヴァス

53 × 44.5 cm

パリ、オルセー美術館

Pierre Auguste Renoir

Geneviève Bernheim de Villers

1910, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay, don de M. et Mme Gaston Bernheim de Villers, 1951

6

ポール・ゴーガン

ボア・ダムールの水車小屋の水浴

1886年、油彩・カンヴァス

60 × 73 cm

ひろしま美術館

Paul Gauguin

La Baignade au moulin du Bois d'Amour

1886, Huile sur toile

Hiroshima Museum of Art

7

ポール・ゴーガン

タヒチ風景

1894年頃、水彩によるモノタイプ・紙

28.9 × 18.1 cm

岐阜県美術館

Paul Gauguin

Scène tahitienne

vers 1894, Monotype à l'aquarelle sur papier

The Museum of Fine Arts, Gifu

8

ポール・ゴーガン

イア・オラナ・マリア(マリア様にご挨拶)

1894年、水彩によるモノタイプ・紙

26.5 × 18.2 cm

岐阜県美術館

Paul Gauguin

IA ORANA MARIA (Je vous salue Marie)

1894, Monotype à l'aquarelle sur papier

The Museum of Fine Arts, Gifu

9

ポール・ゴーガン

マナオ・トゥパパウ

1894年、リトグラフ・紙

18.2 × 27.2 cm

東京、三菱一号館美術館

Paul Gauguin

Manao Tupapau

1894, Lithographie sur papier

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

10

フィンセント・ファン・ゴッホ

マルセル・ルーランの肖像

1888年、油彩・カンヴァス

35.2 × 24.6 cm

アムステルダム、ファン・ゴッホ美術館

Vincent van Gogh

Portrait de Marcelle Roulin

1888, Huile sur toile

Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

11

メイエル・デ・ハーン
ミミの横顔のある静物
1889年、油彩・カンヴァス
50.2×61.4 cm
アムステルダム、ファン・ゴッホ美術館

Meijer de Haan
Nature morte avec profil de Mimi
1889, Huile sur toile
Van Gogh Museum, Amsterdam (purchased with support from the BankGiro Loterij)

12

テオフィル・アレクサンドル・スタンラン
人形を抱く子ども

1889年頃、油彩、パステル・厚紙
56×38 cm
パリ、オルセー美術館
Théophile Alexandre Steinlen
L'Enfant à la poupée
vers 1889, Huile et pastel sur carton
Paris, musée d'Orsay, legs de Mme Roger Desormière, 1973

1

路上の光景、散策する人々

Scènes de rue & promenades
Bonnard, Vuillard, Vallotton

13

ピエール・ボナール
乳母たちの散歩、辻馬車の列
1897年、リトグラフ・紙
144×191 cm
ル・カネ、ボナール美術館
Pierre Bonnard
Promenade des nourrices, frise de fiacres
1897, Lithographie sur papier (4 panneaux)
Musée Bonnard, Le Cannet - acquises avec l'aide du Fonds régional d'acquisition des musées (Fram)

14

ピエール・ボナール
小さな洗濯女
1896年頃、鉛筆・紙
31×19.5 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
La Petite blanchisseuse
vers 1896, Crayon gras sur papier
Collection particulière

15

ピエール・ボナール
学童
1900年、リトグラフ・紙
43×26.5 cm
ル・カネ、ボナール美術館寄託
Pierre Bonnard
L'Ecolière
1900, Lithographie sur papier
Musée Bonnard, Le Cannet, dépôt d'une collection particulière

16

ピエール・ボナール
画帖 I (1890-1891)
1890-91年、水彩、墨・鉛筆・紙
13×20.5 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
Carnet de croquis I : 1890-1891
1890-91, Aquarelle, encre de Chine et mine de plomb sur papier
Collection particulière

17

ピエール・ボナール
画帖 IV (1891-)
1891年-、水彩、墨・鉛筆・紙
14×21.5 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
Carnet de croquis IV : de 1891
1891-, Aquarelle, encre de Chine et mine de plomb sur papier
Collection particulière

18

ピエール・ボナール
並木道 (『パリ生活の小景』より)
1899年、リトグラフ・紙
31.5×46 cm
東京、三菱一号館美術館
Pierre Bonnard
Avenue du Bois de la série *Quelques aspects de la vie de Paris*
1899, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

19

ピエール・ボナール
街角 (『パリ生活の小景』より)
1899年、リトグラフ・紙
27.4×33.5 cm
東京、三菱一号館美術館
Pierre Bonnard
Coin de rue de la série *Quelques aspects de la vie de Paris*
1899, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

20

ピエール・ボナール
大通り (『パリ生活の小景』より)
1899年、リトグラフ・紙
17.5×43.5 cm
東京、三菱一号館美術館
Pierre Bonnard
Boulevard de la série *Quelques aspects de la vie de Paris*
1899, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

21

ピエール・ボナール
夕暮れの広場 (『パリ生活の小景』より)
1899年、リトグラフ・紙
27.8×38.5 cm
東京、三菱一号館美術館
Pierre Bonnard
Place, le soir de la série *Quelques aspects de la vie de Paris*
1899, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

22

ピエール・ボナール
パリの朝
1920年頃、油彩・カンヴァス
18.3×28 cm
北九州市立美術館
Pierre Bonnard
Matin de Paris
vers 1920, Huile sur toile
Kitakyushu Municipal Museum of Art

23

エドゥアル・ヴュイヤール
赤いスカーフの子ども
1891年頃、油彩・厚紙
29.2×17.5 cm
ワシントン・ナショナル・ギャラリー
Edouard Vuillard
L'Enfant à la cape rouge
vers 1891, Huile sur carton
National Gallery of Art, Washington, Ailsa Mellon Bruce Collection, 1970.17.90

24

エドゥアル・ヴュイヤール
乗り合い馬車
1895年頃、油彩・厚紙
23.3×21.1 cm
ロサンゼルス、ハマー美術館
Edouard Vuillard
L'Omnibus
vers 1895, Huile sur carton
The Armand Hammer Collection, Gift of Dr. Armand Hammer. Hammer Museum, Los Angeles

25

フェリックス・ヴァロットン
ベレー帽をかぶる子ども
1889年、ドライポイント・紙
24.6×21.8 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
L'Enfant au béret
1889, Pointe-sèche sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

26

フェリックス・ヴァロットン
街頭デモ
1893年、木版・紙
20.4×32.1 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
La Manifestation
1893, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

27

フェリックス・ヴァロットン
『息づく街パリ』口絵
1894年、シンコグラフィ・紙
21.8×31.4 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Frontispiece pour *Paris intense*
1894, Zincographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

28

フェリックス・ヴァロットン
事故 (『息づく街パリ』より)
1893年、シンコグラフィ・紙
22.3×31.1 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
L'Accident de la série *Paris intense*
1893, Zincographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

29

フェリックス・ヴァロットン
女の子たち
1893年、木版・紙
14.4×20.3 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Les Petites filles
1893, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

30

フェリックス・ヴァロットン
突風
1894年、木版・紙
17.8×22 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Le Coup de vent
1894, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

31

フェリックス・ヴァロットン
にわか雨
1894年、木版・紙
18.2×22.6 cm
東京、三菱一号館美術館

Félix Vallotton
L'Averse
1894, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

32
フェリックス・ヴァロットン
可愛い天使たち
1894年、木版・紙
14.8×24.5 cm
東京、三菱一号館美術館

Félix Vallotton
Petits anges
1894, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

33
フェリックス・ヴァロットン
1月1日
1896年、木版・紙
17.8×22.4 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Le 1^{er} janvier
1896, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

34
フェリックス・ヴァロットン
動く歩道(『万国博覧会』より)
1900年、木版・紙
12.4×15.9 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Le Trottoir roulant de la série *Exposition universelle*
1900, Gravure sur bois sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

35
フェリックス・ヴァロットン
『群衆——パリの野次馬たち』(オクターヴ・ユザンヌ序文)
1896年刊行、書籍
24.2×17.8 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Illustrations pour *Les Rassemblements - Badauderies parisiennes : physiologies de la rue* préface par Octave Uzanne
1896, Livre
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

36
フェリックス・ヴァロットン
『罪と罰』
1901年刊行、23点のリトグラフ・紙
31.9×24.9 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Crimes et châtiments
1901, Suite de vingt-trois lithographies sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

2

都市の公園と家族の庭

Jardins publics & jardins privés
Bonnard, Vuillard, Ranson, Vallotton,
Denis, Maillol, Müller

37
ピエール・ボナール
ル・グラン=ランスの家族
1899年頃、油彩・厚紙
20×50 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
La Famille au Grand-Lemps
vers 1899, Huile sur carton
Collection particulière

38
ピエール・ボナール
飾り置物
1902年、ブロンズ
79×49.2×15.3 cm
東京、三菱一号館美術館寄託
Pierre Bonnard
Surtout
1902, Bronze
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo (Dépôt)

39
ウジェーヌ・ドラートル
小公園の子ども
1900年頃、エッチング、アクアチント・紙
23.2×15.7 cm
個人蔵(ジュー・コレクション)
Eugène Delâtre
L'Enfant au square
vers 1900, Eau-forte et aquatinte sur papier
Collection Jouhet

40
モーリス・ドニ
私のところに来るままに
1899年、油彩・板
29×32 cm
個人蔵(ウィンター・コレクション)
Maurice Denis
Laissez venir à moi...
1899, Huile sur panneau
Collection Winter

41
モーリス・ドニ
赤いエプロンドレスを着た子ども
1897年、油彩・厚紙
33×42 cm
個人蔵
Maurice Denis
L'Enfant au tablier rouge
1897, Huile sur carton
Collection particulière

42
モーリス・ドニ
雌鶲と少女
1890年、油彩・カンヴァス
134.5×42.5 cm
東京、国立西洋美術館
Maurice Denis
Petite fille à poule
1890, Huile sur toile
The National Museum of Western Art, Tokyo

43
アリストード・マイヨール
花の冠
1889年、油彩・カンヴァス
130×161 cm
株式会社講談社
Aristide Maillol
La Couronne de fleurs
1889, Huile sur toile
Kodansha Company Ltd.

44
アリストード・マイヨール
若い少女の胸像
1891年頃、油彩・カンヴァス
57×49 cm
パリ、マイヨール美術館
Aristide Maillol
Buste de jeune fille
vers 1891, Huile sur toile
Fondation Dina Vierny - musée Maillol, Paris

45
アリストード・マイヨール
若い少女の横顔
1891年、油彩・カンヴァス
32.7×46.5 cm
個人蔵(パリ、ギャルリー・ディナ・ヴィエルニー寄託)

Aristide Maillol
Profil de jeune fille
1891, Huile sur toile
Collection particulière; courtesy galerie Dina Vierny, Paris

46
アリストード・マイヨール
山羊飼いの娘
1890年頃、油彩・カンヴァス
50×65 cm
岐阜県美術館
Aristide Maillol
La Gardeuse de chèvres
vers 1890, Huile sur toile
The Museum of Fine Arts, Gifu

47
アリストード・マイヨール
『農耕詩』(ウェルギリウス)
1950年刊行、木版・紙
33×25×4 cm
北九州市立美術館
Aristide Maillol
Illustrations pour *Les Géorgiques* de Virgile
1950, Gravure sur bois sur papier
Kitakyushu Municipal Museum of Art

48
フェリックス・ヴァロットン
公園、夕暮れ
1895年、油彩・厚紙
18.5×48.5 cm
東京、三菱一号館美術館
Félix Vallotton
Jardin public le soir
1895, Huile sur carton
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

49
フェリックス・ヴァロットン
リュクサンブル公園
1895年、油彩・カンヴァス
54×73 cm
株式会社講談社
Félix Vallotton
Jardin du Luxembourg
1895, Huile sur toile
Kodansha Company Ltd.

50
エドワール・ヴュイヤール
公園にて、麦わら帽子
1891年、油彩・厚紙
32×22.5 cm
個人蔵(トマス・ギブソン・ファイン・アート寄託)
Edouard Vuillard
Au Jardin public, le chapeau de paille
1891, Huile sur carton
Collection particulière, Courtesy of Thomas Gibson Fine Art

51
アルフレド・ミュラー
ピクニック
1903年、リトグラフ・紙
57.5×155 cm
個人蔵(エレーヌ・ケール氏蔵)
Alfredo Müller
La Dinette
1903, Lithographie sur papier
Hélène Koehl, présidente, Les Amis d'Alfredo Müller

52
アルフレド・ミュラー
踏切(四輪車)
1903年、リトグラフ・紙
57×154 cm
個人蔵(エレーヌ・ケール氏蔵)
Alfredo Müller
Le Passage à niveau (Le Quadricycle)
1903, Lithographie sur papier
Hélène Koehl, présidente, Les Amis d'Alfredo Müller

3

家族の情景

Scènes de famille

Bonnard, Maillol, Denis, Vuillard, Vallotton

53

ピエール・ボナール

家族の情景

1893年、リトグラフ・紙

31.3×17.8 cm

東京、三菱一号館美術館

Pierre Bonnard

Scène de famille

1893, Lithographie sur papier

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

54

ピエール・ボナール

母と子

1893年、鉛筆・紙

31×20 cm

個人蔵

Pierre Bonnard

Mère et enfant

1893, Crayon sur papier

Collection particulière

55

ピエール・ボナール

家族の情景

1893年、リトグラフ・紙

21.7×26.7 cm

ル・カネ、ボナール美術館寄託

Pierre Bonnard

Scène de famille

1893, Lithographie sur papier

Musée Bonnard, Le Cannet, dépôt d'une collection particulière

56

ピエール・ボナール

アンドレとその息子ジャン

1892年頃、インク、水彩・紙

21×16.5 cm

ル・カネ、ボナール美術館寄託

Pierre Bonnard

Andrée et son fils Jean

vers 1892, Encre et aquarelle sur papier

Musée Bonnard, Le Cannet, dépôt d'une collection particulière

57

ピエール・ボナール

祖母と子どもたち

1893年、油彩・カンヴァス

22.5×37 cm

サン=クロード、修道院美術館

Pierre Bonnard

Grand-mère et enfants

1893, Huile sur toile

Saint-Claude, musée de l'Abbaye

58

ピエール・ボナール

テラス夫人と子どもたち

1896年、インク、水彩・紙

16.6×17 cm

サン=ジェルマン=アン=レー、モーリス・ドニ美術館

Pierre Bonnard

Madame Terrasse et ses enfants

1896, Encre et aquarelle sur papier

Saint-Germain-en-Laye, musée départemental

Maurice Denis

59

ピエール・ボナール

ピアノ曲、家族の情景: 眠れ、子よ、眠れ

1893年、リトグラフ・紙

14.5×23.6 cm

ル・カネ、ボナール美術館

Pierre Bonnard

Petites scènes familiaires - Dodo l'enfant-do
1893, Lithographie sur papier de Chine
Musée Bonnard, Le Cannet**60**

ピエール・ボナール

ピアノ曲、家族の情景: フィフィの歌

1893年、リトグラフ・紙

17.2×11.2 cm

ル・カネ、ボナール美術館

Pierre Bonnard

Petites scènes familiaires - Air de Fifi

1893, Lithographie sur papier de Chine

Musée Bonnard, Le Cannet

61

ピエール・ボナール

子どもたちの昼食

1897年頃、油彩・板

26.5×33.5 cm

ナンシー美術館

Pierre Bonnard

Le Déjeuner des enfants

vers 1897, Huile sur bois parqueté

Nancy, musée des beaux-arts

62

ピエール・ボナール

ランプの下の整ったテーブル

1899年頃、油彩・カンヴァス

29×34 cm

ジュネーヴ、個人蔵

Pierre Bonnard

Table servie sous la lampe

vers 1899, Huile sur toile

Collection particulière, Genève

63

ピエール・ボナール

猫と子どもたち

1909年、油彩・カンヴァス

54.6×69.5 cm

ワシントン、フィリップス・コレクション

Pierre Bonnard

Enfants et chat

1909, Huile sur toile

The Phillips Collection, Washington D.C.

Acquired 1927

64

ピエール・ボナール

少年のいる室内

1910年、油彩・カンヴァス

40.7×63.5 cm

ワシントン、フィリップス・コレクション

Pierre Bonnard

Intérieur avec garçon

1910, Huile sur toile

The Phillips Collection, Washington D.C.

Acquired 1927

65

ピエール・ボナール

小さな少年

1904年、油彩・板

45×37 cm

モナコ、個人蔵（パリ、デュアメル・ファイン・アーツ寄託）

Pierre Bonnard

Petit garçon

1904, Huile sur panneau

Collection particulière, Monaco. c/o Duhamel Fine Arts, Paris

66

ピエール・ボナール

歌う子どもたち（シャルルとジャン・テラス）

1900年頃、油彩・板に貼った厚紙

44.5×53.4 cm

ル・カネ、ボナール美術館寄託

Pierre Bonnard

Enfants solfiants, Charles et Jean Terrasse

vers 1900, Huile sur carton marouflé sur bois

Musée Bonnard, Le Cannet, dépôt d'une collection particulière

67

モーリス・ドニ

ばら色の子どものいる窓

1898年、油彩・厚紙

25.7×19 cm

個人蔵

Maurice Denis

Fenêtre à l'enfant rose

1898, Huile sur carton

Collection particulière

68

モーリス・ドニ

子ども部屋（二つの振りかご）

1899年、油彩・カンヴァス

44×50 cm

個人蔵（モーリス・ドニ遺族）

Maurice Denis

La Chambre des enfants ou Les Deux berceaux

1899, Huile sur toile

Collection particulière, famille Maurice Denis

69

モーリス・ドニ

ベランダでボールを持つ子ども

1901年頃、油彩・板に貼ったカンヴァス

48×40 cm

個人蔵

Maurice Denis

L'Enfant au ballon sous la véranda

vers 1901, Huile sur toile marouflée sur panneau

Collection particulière

70

モーリス・ドニ

親密さ（窓辺で繕い物をする女性）

1903年、油彩・カンヴァス

55.5×48.5 cm

パリ、ブティ・パレ美術館

Maurice Denis

Intimité ou Ravaudeuse à la fenêtre

1903, Huile sur toile

Petit Palais, musée des beaux-arts de la ville de Paris

71

モーリス・ドニ

入浴するノル

1897年、油彩・カンヴァス

60×42 cm

個人蔵（パリ、ギャルリー・ディナ・ヴィエルニー寄託）

Maurice Denis

Nono au bain

1897, Huile sur toile

Collection particulière ; courtesy galerie Dina Vierny, Paris

72

モーリス・ドニ

入浴、システィーナ通り

1904年、油彩・厚紙

58.5×68.5 cm

個人蔵

Maurice Denis

Le Tub, via Sistina

1904, Huile sur carton

Collection particulière

73

エドワール・ヴュイヤール

青いベッドにいる祖母と子ども

1899年、油彩・厚紙

46.5×53 cm

ヴィンタートゥール美術館

Edouard Vuillard

Grand-mère et enfant au lit bleu

1899, Huile sur carton

Kunst Museum Winterthur, Purchase with funds from Jubiläumsstiftung Kunstverein Winterthur, 2010

74

ジョルジュ・ラコンブ

立つシルヴィの肖像

1900年、パステル・カンヴァスに貼った紙

100×62 cm

個人蔵

Georges Lacombe
Portrait de Sylvie debout
1900, Pastel sur papier marouflé sur toile
Collection particulière

75

ジョルジュ・ラコンブ

シルヴィの胸像

1901年、木彫

30×22×15 cm

個人蔵

Georges Lacombe

Buste de Sylvie

1901, Bois sculpté (acajou)

Collection particulière

76

ポール・ランソン

アナトール人形劇

1896-97年、インク・紙

24×18 cm

個人蔵（ワインター・コレクション）

Paul Ranson

Guignol Anatole

1896-97, Encre sur papier

Collection Winter

77

アルフレド・ミュラー

猫と小さな少女

1897年、エッティング、ドライポイント、アクアチント・紙

39.5×39.5 cm

個人蔵（エレーヌ・ケール氏蔵）

Alfredo Müller

La Petite fille au chat

1897, Eau-forte, pointe-sèche et aquatinte sur papier
Hélène Koehl, présidente, Les Amis d'Alfredo Müller

78

アルフレド・ミュラー

紙提灯

1897年、エッティング、アクアチント・紙

53×45 cm

個人蔵（エレーヌ・ケール氏蔵）

Alfredo Müller

Les Lampions

1897, Eau-forte et aquatinte sur papier

Hélène Koehl, présidente, Les Amis d'Alfredo Müller

79

アルフレド・ミュラー

『赤ん坊のアルバム』

1905年刊行、リトグラフ・紙

19.4×15.3 cm

個人蔵（エレーヌ・ケール氏蔵）

Alfredo Müller

Album de bébé

1905, Lithographie sur papier

Hélène Koehl, présidente, Les Amis d'Alfredo Müller

80

フェリックス・ヴァロットン

エトルタの四人の海水浴客

1899年、油彩・厚紙

27×34 cm

ギャルリー・バイイ

Félix Vallotton

Quatre baigneurs à Étretat

1899, Huile sur carton

Galerie Bailly

81

アリストイード・マイヨール

リュシアンの肖像

1896年、油彩・板

32.5×30 cm

パリ、マイヨール美術館

Aristide Maillol

Portrait de Lucien

1896, Huile sur bois

Fondation Dina Vierny - musée Maillol, Paris

82

アリストイード・マイヨール

母と子

1896年、油彩・厚紙

42.8×35.5 cm

個人蔵（パリ、ギャルリー・ディナ・ヴィエルニーおよびコネリー・アンド・アソシエイツ寄託）

Aristide Maillol

Mère et enfant

1896, Huile sur carton

Collection particulière ; courtesy galerie Dina Vierny, Paris et Connery and Associates

83

モーリス・ドニ

サクランボを持つノエルの肖像

1899年、油彩・厚紙

41.5×31.7 cm

ブリュッセル、個人蔵

Maurice Denis

Portrait de Noëlle aux cerises

1899, Huile sur carton

Collection particulière, Bruxelles

84

モーリス・ドニ

ノエルと母親

1896年頃、油彩・厚紙に貼ったカンヴァス

33.5×39.5 cm

個人蔵

Maurice Denis

Noëlle et sa mère

vers 1896, Huile sur toile collée sur carton

Collection particulière

85

モーリス・ドニ

『開いた窓辺の母親』のための習作

1899年頃、油彩・カンヴァス

68×45 cm

個人蔵

Maurice Denis

Esquisse pour la Mère à la fenêtre ouverte

vers 1899, Huile sur toile

Collection particulière

86

モーリス・ドニ

青いズボンの子ども

1897年、油彩・カンヴァス

52.5×39.2 cm

パリ、オルセー美術館

Maurice Denis

L'Enfant au pantalon bleu

1897, Huile sur toile

Paris, musée d'Orsay

87

モーリス・ドニ

薄紫のガウンを着た母親

1895年、油彩・カンヴァス

56×47 cm

個人蔵

Maurice Denis

La Mère au peignoir mauve

1895, Huile sur toile

Collection particulière

88

モーリス・ドニ

母子像

1901年頃、油彩・厚紙

23×23 cm

パリ、オルセー美術館

Maurice Denis

Maternité

vers 1901, Huile sur carton

Paris, musée d'Orsay, don de Mr et Mme

Jean-François Denis, 1985

4

挿画と物語、写真

Illustrations & contes / Photographies

89

ピエール・ボナール

感情のアルファベット：友愛（amitié）のA

1893年、鉛筆、墨、水彩・紙

22×30.5 cm

マルセイユ、個人蔵

Pierre Bonnard

L'Alphabet sentimental - A comme amitié

1893, Crayon, encre de Chine et aquarelle sur papier

Collection particulière, Marseille

90

ピエール・ボナール

感情のアルファベット：不機嫌（boudoirie）のB

1893年、鉛筆、墨、水彩・紙

22×30.5 cm

マルセイユ、個人蔵

Pierre Bonnard

L'Alphabet sentimental - B comme boudoirie

1893, Crayon, encre de Chine et aquarelle sur papier

Collection particulière, Marseille

91

ピエール・ボナール

感情のアルファベット：秘密（confidence）のC

1893年、鉛筆、墨、水彩・紙

25.5×30.5 cm

マルセイユ、個人蔵

Pierre Bonnard

L'Alphabet sentimental - C comme confidence

1893, Crayon, encre de Chine et aquarelle sur papier

Collection particulière, Marseille

92

ピエール・ボナール

感情のアルファベット：重々しさ（gravité）のG

（表面）；音楽（musique）のM（裏面）

1893年頃、鉛筆、墨、水彩・紙

26.5×32 cm

個人蔵

Pierre Bonnard

L'Alphabet sentimental - G comme gravité

(recto) ; M comme musique (verso)

vers 1893, Crayon, encre de Chine et aquarelle

sur papier

Collection particulière

93

ピエール・ボナール

『小さなソルフェージュ』（クロード・テラス作曲）

1893年、挿絵本

21.2×28.6 cm

ル・カネ、ボナール美術館

Pierre Bonnard

Petit Solfège illustré, album illustré de

musique de Claude Terrasse

1893, Livre illustré

Musée Bonnard, Le Cannet

94

ピエール・ボナール

『小さなソルフェージュ』のための習作

1893年、ペン、インク、鉛筆・紙

22×27.5 cm

個人蔵

Pierre Bonnard

Etude pour le Petit Solfège illustré

1893, Stylo, encre et crayon sur papier

Collection particulière

95

ピエール・ボナール
『小さなソルフェージュ』のための習作
1893年、インク、鉛筆・紙
22×27.5 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
Etude pour le Petit Solfège illustré
1893, Encre et crayon sur papier
Collection particulière

96

モーリス・ドニ
『最初の風景』
1912年刊行、挿絵本
27×22 cm
個人蔵
Maurice Denis
Premiers paysages
1912, Livre imprimé couleurs et noir et blanc
Collection particulière

97

モーリス・ドニ
ばら色の船
1893年、リトグラフ・紙
95×65 cm
東京、三菱一号館美術館
Maurice Denis
Projet du papier de tenture, les bateaux roses
1893, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

98

ピエール・ボナール
『博物誌』(ジュール・ルナール)
1904年刊行、書籍
19.5×12.5 cm
ル・カネ、ボナール美術館
Jules Renard
Histoires naturelles, illustrations de Pierre Bonnard
1904, Livre
Musée Bonnard, Le Cannet

99

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『博物誌』(ジュール・ルナール)
1897年刊行、リトグラフ・紙
32.8×23.2 cm
東京、三菱一号館美術館
Henri de Toulouse-Lautrec
Illustrations pour les Histoires naturelles de Jules Renard
1897, Lithographie sur papier
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

100

ピエール・ボナール
水浴
1903年、モダン・プリント
14.5×20 cm
ル・カネ、ボナール美術館
Pierre Bonnard
La Baignade
1903, Tirage moderne
Archives musée Bonnard, Le Cannet

101

ピエール・ボナール
犬を抱きしめる後ろ向きのルネ (ノワジー=ル=グラン)
1898年、モダン・プリント
14.5×20 cm
ル・カネ、ボナール美術館
Pierre Bonnard
Renée de dos embrassant un chien (Noisy-le-Grand)
1898, Tirage moderne
Archives musée Bonnard, Le Cannet

102

ピエール・ボナール
コダック・カメラを持つヴュイユールとルネ
(ル・グラン=ランス)
1900年春、モダン・プリント
14.5×20 cm
ル・カネ、ボナール美術館
Pierre Bonnard
Vuillard tenant son appareil Kodak et Renée (Le Grand-Lemps)
Printemps 1900, Tirage moderne
Archives musée Bonnard, Le Cannet

103

モーリス・ドニ
入浴するノエルとマルト
1898年頃、ドリュエによるプリント
11.9×16 cm
個人蔵
Maurice Denis
Noëlle au bain avec Marthe
vers 1898, Tirage photographique par Druet
Collection particulière

104

モーリス・ドニ
輪を持って戸口に座るアンヌ=マリー
1904年9月、ドリュエによるプリント
10.2×16.2 cm
個人蔵
Maurice Denis
Anne-Marie au cerceau assise sur le pas de la porte
septembre 1904, Tirage photographique par Druet
Collection particulière

105

モーリス・ドニ
小さな丸いかご(アンヌ=マリー、ノエル、ベルナデット)、
ナボリ
1904年3月20日、ドリュエによるプリント
16.1×15.3 cm
個人蔵
Maurice Denis
Les petits paniers ronds (Anne-Marie, Noëlle et Bernadette), Naples
20 mars 1904, Tirage photographique par Druet
Collection particulière

106

モーリス・ドニ
祖父母(ドニ夫妻)の庭にいる7歳のベルナデット
(ベルナデット、前景)
1906年4月1日、ドリュエによるプリント
16.1×15.3 cm
個人蔵
Maurice Denis
Les 7 ans de Bernadette dans le jardin de ses grands-parents Denis (Bernadette, premier plan)
1er avril 1906, Tirage photographique par Druet
Collection particulière

107

モーリス・ドニ
ボローニャのポルティコ(柱廊)の下のアンヌ=マリー、
ベルナデット、ノエル
1907年10月-11月、ドリュエによるプリント
15.2×14.5 cm
個人蔵

Maurice Denis

Anne-Marie, Bernadette et Noëlle sous une arcade, Bologne
octobre-novembre 1907, Tirage photographique par Druet
Collection particulière

エピローグ

Epilogue

永遠の子ども時代
L'enfance éternelle

108

ピエール・ボナール
大装飾画、街路風景
1905年頃、油彩・カンヴァス
157×173 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
Grand décoration, scène de rue
vers 1905, Huile sur toile
Collection particulière

109

ピエール・ボナール
赤い木のある庭
1909年頃、油彩・カンヴァス
100.5×81 cm
個人蔵(アートヴェラ・ギャラリー寄託)
Pierre Bonnard
Jardin à l'arbre rouge
vers 1909, Huile sur toile
Collection particulière, Courtesy Artvera's Gallery

110

ピエール・ボナール
イザベル・ルコント・ドウ・ヌイ嬢
1929年、油彩・カンヴァス
51×63 cm
個人蔵
Pierre Bonnard
Mademoiselle Isabelle Lecomte du Nouy
1929, Huile sur toile
Collection particulière

111

ピエール・ボナール
雄牛と子ども
1946年、油彩・カンヴァス
94.6×118.5 cm
モナコ、個人蔵(マーク・カウフマン氏蔵)
Pierre Bonnard
Bœuf et l'enfant
1946, Huile sur toile
Prof. Mark Kaufman (Monaco)

112

ピエール・ボナール
サーカスの馬
1946年、油彩・カンヴァス
93×117 cm
モナコ、個人蔵(マーク・カウフマン氏蔵)
Pierre Bonnard
Cheval de cirque
1946, Huile sur toile
Prof. Mark Kaufman (Monaco)



開館10周年記念

「1894 Visions ルドン、ロートレック展」

英国人建築家ジョサイア・コンドルの設計により、東京・丸の内の最初のオフィスビルとして三菱一号館が竣工したのは、1894(明治27)年のことである。1877年に弱冠24歳で工部大学校の教授として来日したコンドルは、1890年に三菱社の顧問に迎えられる。同年に三菱社は、明治政府から丸の内の地を一括して払い下げられた。三菱一号館が建てられた土地は、江戸の初期までは日比谷入り江と呼ばれ、現在の新橋から大手町あたりまでは、海が入り込んでいた。江戸時代初期に埋め立てられ大名屋敷になった一帯は、三菱社が払い下げを受けた時には寂しく荒れていた。三菱一号館が竣工した後になんでも周辺には空き地が残され、長く「三菱が原」と呼ばれていたほどである。だが明治の末になると、三菱一号館が面した馬場先通りには、順に堅牢な煉瓦と石造りの軒高50尺(15m余)^{いっちょうろうンドン}の建物が整然と立ち並び、「一丁倫敦」と称されるようになる。

1894 Visions展は、三菱一号館美術館と岐阜県美術館の共同企画として、三菱一号館が丸の内に竣工した1894年に焦点を当てた。岐阜県美術館は世界有数のルドンのコレクションを所蔵しており、その一部は、2011年から翌年にかけて「岐阜県美術館所蔵 ルドンとその周辺－夢見る世紀末－」展として、国内3会場を巡回、最終会場となった三菱一号館美術館では、同館が2009年の夏に購入したルドンのパステル《グラン・ブーケ(大きな花束)》が、東京ではじめてお披露目された。また2018年2月から5月にかけて、三菱一号館美術館が「ルドン－秘密の花園」展を開催した時には、岐阜県美術館から13点の作品が出品された。本展は「夢見る世紀末」展の準備から、10年以上に及ぶ両館の友好な関係のうえに開催された。

本展は三菱一号館美術館の開館10周年、そして岐阜県美術館のリニューアル・オープンの2020年度の最後を飾る展覧会として、相互のコレクションを持ち寄るような形で準備が進められてきたが、その最中に、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大が始まり、多くの

美術館が長期休館に入ってしまった。各館の再開後も、海外からの借用展が相次いで中止となり、本展に出品が予定されていた海外からの借用も、一部制限を受けた。だがその後の緊急事態宣言の間を縫うように、本展は第二会場の岐阜県美術館へ巡回までを終了することができた。

この展覧会は、三菱一号館美術館のコレクションを見直すことからスタートしている。時間と労力をかけて所蔵品を再度見直して展覧会を構成するという内容は、海外美術館からの大量動員型の展覧会が幅を利かせていたコロナ禍以前においては、相対的な華やかさに欠けていた。だが感染症の流行で移動に制限が加えられ、多くの海外作品展が中止となり、図らずも注目を受けた。展覧会終了後の2021年3月に、美術史学会美術館博物館委員が主催した東西合同シンポジウム「コロナ禍と美術館・博物館」において取り上げられたのは、反響の一例である。

会 期：2020年10月24日(土)～2021年1月17日(日) [76日間]

開館時間：10時～18時(祝日を除く金曜と会期最終週平日、第2水曜日は21時まで)

※1月8日より緊急事態宣言発出に伴い、夜間開館日は21時→20時に短縮

休 館 日：月曜休館 展示替え11月24日～25日

(祝日、トークフリーデー、1月4日は開館)

主 催：三菱一号館美術館、日本経済新聞社

後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協 賛：大日本印刷

企画協力：岐阜県美術館

巡 回 先：岐阜県美術館 2021年1月30日(土)～3月14日(日)

入場者数：49,922人

1894 Visions: Odilon Redon and Henri de Toulouse-Lautrec

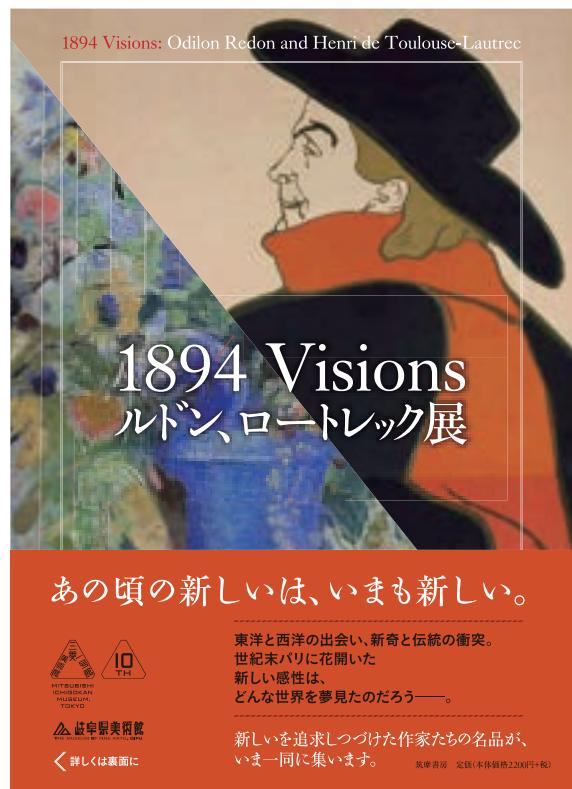
The Mitsubishi Ichigokan building designed by the British architect Josiah Conder was completed in the year 1894, becoming the first Western-style office building in Tokyo's Marunouchi district. Conder, who came to Japan in 1877 at the mere age of 24 to teach at the Imperial College of Engineering, was employed as a consultant by Mitsubishi in 1890. In that same year, Mitsubishi purchased the entire Marunouchi area from the Meiji government. The land where the Mitsubishi Ichigokan building was constructed had until the early Edo period been an inlet of Tokyo Bay called Hibiya Inlet, which stretched from what is now Shimbashi to Otemachi. Early in the Edo period, the inlet was filled in, and the second homes of daimyo (feudal lords) were constructed on the reclaimed land. However, by the time that the area was sold off to Mitsubishi, it was desolate and undeveloped. Even after the Mitsubishi Ichigokan building was completed, it remained surrounded by vacant lots, such that the area was long derisively known as "the Mitsubishi Wasteland." Nonetheless, by the end of the Meiji era, sturdy brick and stone buildings over fifteen meters in height stood in neat rows along Babasaki-dori Avenue in front of the Mitsubishi Ichigokan building, earning the district the nickname "Iccho London" (London Town).

"1894 Visions" was a joint project by the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, and the Museum of Fine Arts, Gifu, focusing on 1894, the year in which the Mitsubishi Ichigokan building was completed in Marunouchi. The Museum of Fine Arts, Gifu, boasts one of the world's most extensive collections of works by Odilon Redon. Some of these works toured three venues in Japan as part of the exhibition "Rêves de fin-de-siècle: Odilon Redon et ses amis dans la collection du Musée des Beaux-Arts de Gifu" from 2011 to 2012. At the final venue, the Mitsubishi Ichigokan Museum, Redon's pastel work "Grand Bouquet," which the museum had purchased in the summer of 2009, was displayed in Tokyo for the first time. The Mitsubishi Ichigokan Museum's exhibition "Flore d'Odilon Redon" from February to May of 2018 also featured thirteen works from the Museum of Fine Arts, Gifu. Thus, "1894 Visions" was based on over ten years of friendly ties between the two museums, starting from the preparations for "Rêves de fin-de-siècle."

Arrangements began for an exhibition to culminate the 2020 fiscal year, marking both the tenth anniversary of the Mitsubishi Ichigokan Museum and the reopening of the Museum of Fine Arts, Gifu, following renovations, by bringing together the collections of the two museums. However, the global COVID-19 pandemic

broke out in the midst of these arrangements, causing many museums to close for extended periods. Even after each museum resumed operations, exhibitions of works loaned from overseas were canceled one after another. Some of the loaned works scheduled to be featured in "1894 Visions" were also subject to restrictions. Nonetheless, the exhibition was successfully held in the gaps between subsequent states of emergency, finally reaching its second venue, the Museum of Fine Arts, Gifu.

The exhibition started from a review of the Mitsubishi Ichigokan Museum's collection. The content of the exhibition resulting from this long and laborious review would have been relatively lacking in glamor before the COVID-19 pandemic, when large-scale traveling exhibitions from art museums overseas reigned supreme. However, it ended up drawing unexpected attention thanks to the cancellation of many exhibitions of overseas works due to pandemic travel restrictions. As one example of this positive response, in March 2021, following its closing, the exhibition was featured in the Japan Art History Society Museum Committee Symposium "Museums Under COVID-19."



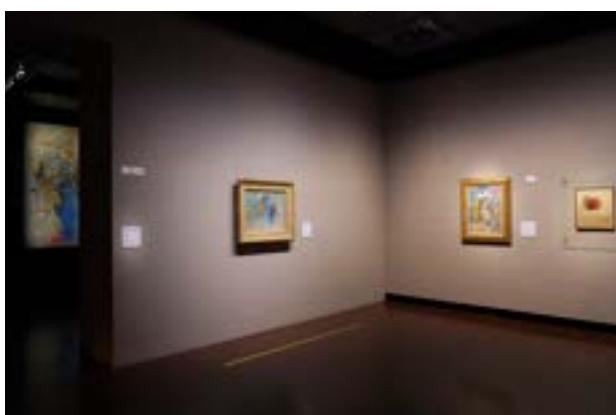
展覧会図録表紙



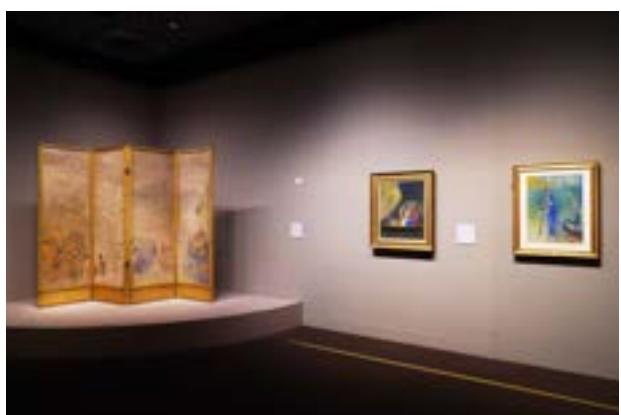
展示風景1



展示風景2



展示風景3



展示風景4



花束「グラン・ブーケ」



花束「ロートレック」



花束「ルドン」



withコロナ時代の新しい鑑賞会 人数限定夜間特別ギャラリートーク



担当学芸員によるレクチャー
展覧会を語る「1894 Visions ルドン、ロートレック展」

広報活動

媒体掲載件数

合計件数： 222 件
T V : 2 件
ラジオ : 1 件
新聞 : 75 件
雑誌 : 106 件
W E B : 37 件 (うち3件アソリ)
その他 : 1 件 (動画配信)

主要掲載

- T V
NHK・Eテレ 日曜美術館・アートシーン 11月22 O.A.
(再放送同日夜)

・新 開

毎日新聞 9月25日夕刊 美術館ガイド
日経新聞 2月19日朝刊 開幕前告知
朝日新聞 10月20日夕刊 文化面
日経新聞 10月30日夕刊 文化面
毎日新聞 11月6日朝刊 文化面
朝日新聞 12月8日夕刊 アート面「美の履歴書」
毎日新聞 12月28日夕刊 文化面「アートの扉」

・雑 誌

『東京人』 4月号 1ページ
『おとなのOFF』別冊 2020秋冬 1ページ
『BAILA』 10月号 1ページ
『Ar』 11月号 1ページ
『美術の窓』 11月号 1ページ

PR 施策

- 「2020スマイルフラワープロジェクト」とコラボレーション
三菱一号館美術館所蔵 ルドン、ロートレック作品をイメージした花束プランを販売

期間：2020年11月17日～12月22日

内容：展覧会の会期中・期間限定で、フラワーロスを助ける取り組みである「2020スマイルフラワープロジェクト*」とコラボレーションを行いました。

「開館10周年記念 1894 Visions ルドン、ロートレック展」にちなみ、当館の所蔵品を代表するオディロン・ルドン《グラン・ブーケ(大きな花束)》と、トゥールーズ=ロートレック作品の色彩からインスピアされた鑑賞券付き花束プランを販売。

この花束により、本展覧会の雰囲気をおうちで楽しんでいただくと共に、社会問題のひとつとなっていたフラワーロス(花の廃棄問題)を考えるきっかけとなればと企画しました。

*2020スマイルフラワープロジェクトとは：
新型コロナウイルスの影響で廃棄される花とその生産農家を応援するプロジェクトです。

教育普及プログラム

・展覧会を語る「開館10周年記念 1894 Visions ルドン、ロートレック展」

日 時：2020年11月19日(木)14:00～15:00
会 場：オンライン
講 師：安井裕雄(三菱一号館美術館 上席学芸員)
参加者：75名

・withコロナ時代の新しい鑑賞会 人数限定夜間特別ギャラリートーク

日 時：2020年11月5日(木)、12月16日(水)18:30～19:30
会 場：三菱一号館美術館展示室
講 師：石神森、前田麻奈実(教育普及担当)
参加者：19名(2回計)

・Marunouchi Office workers and Fan's NIGHT[MOF(モフ) NIGHT] 三菱一号館美術館 × チオベン 山本千織さんの「ルドン弁当」

会 場：オンラインにて動画を配信
講 師：山本千織さん(料理人／「chioben」主宰)
参加者：19名

・館ツアーア

日 時：2020年11月17日(火)10:15～11:00
：2020年12月15日(火)16:15～17:00
会 場：三菱一号館美術館(展示室以外)
参加者：17名(計2回)

1894 Visions: Odilon Redon and Henri de Toulouse-Lautrec

1894 Visions ルドン、ロートレック展

2020年10月24日～2021年1月17日

主催 | 三菱一号館美術館 日本経済新聞社

後援 | 在日フランス大使館／

アンスティチュ・フランセ日本

協賛 | 大日本印刷

企画協力 | 岐阜県美術館

24 October 2020 - 17 January 2021

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

Organized by:

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo / Nikkei Inc.

With the support of:

Ambassade de France / Institut français du Japon

With the sponsorship of: Dai Nippon Printing Co., Ltd.

凡例 |

本リストは、1894 Visions ルドン、ロートレック展の出品作品(n° 001-148)を掲載している。作品保存のために、展示替えが予定されている。出品作品のうち関連する作品は、同じ作品番号に枝番を付して区別した(例: n° **, n° **-*, n° **-*A-C)。本展の展覧会カタログに図版が掲載されていないが、会場で展示されるものは、bis, ter を付して掲載作品と区別した。

欧文は基本的に英語であるが、フランス語圏で制作した画家の作品はフランス語で記載した。日本人画家の作品は基本的に英語で記載したが、フランス語により発表・刊行されている場合には、これに従った。

作品データは、所蔵者から提供されたデータに基づき、図録番号、作家名、作品名、制作年、寸法(縦×横×奥行き(高さ) cm)、技法・素材、所蔵先(一部所蔵番号)、作家名(欧)、作品名(欧)、技法・素材(欧)、所蔵先(一部欧)の順に記載した。ロートレックの版画は基本的にはペーパーサイズで記すが、ロートレックの版画n° 072-1, 072-4, 072-10、そして他の作家による版画はイメージサイズで記載する。

・本リストの番号はカタログ番号に準じており、展示の順番とは異なる。

・展示室の温度、湿度、照度は作品保護に関する国際基準、および所蔵美術館の貸出条件によって調整されている。

・会場内での写真撮影、複写、鉛筆以外の筆記用具の使用はご遠慮ください。

◇前期のみの展示 ◆後期のみの展示



List of works | 作品リスト

1 19世紀後半、ルドンとトゥールーズ=ロートレックの周辺

001

ギュスターヴ・モロー
ピエタ

1854年 75.0×96.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館

Gustave Moreau (1826-1898)

Pieta
Oil on canvas

002

エドガー・ドガ

ラファエルロ《アテネの学園》の模写
1857-58年 46.3×36.2 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Edgar Degas (1834-1917)

L'Ecole d'Athènes, copie d'après Raphaël
Oil on canvas

003

ジャン=フランソワ・ミレー

ミルク缶に水を注ぐ農婦

1859年 39.5×33.0 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Jean-François Millet (1814-1875)

Paysanne au puits
Oil on canvas

004

アルフレッド・シスレー

ルーヴルシエンヌの一隅
1872年 45.9×39.8 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Alfred Sisley (1839-1899)

Un coin de Louveciennes
Oil on canvas

005

カミーユ・ピサロ
牛の番をする農婦、モンフロー
1875年 28.5×41.5 cm 油彩／画布
岐阜県美術館

Camille Pissarro (1830-1903)
Gardeuse de vache, Montfoucault
Oil on canvas

006

ポール・セザンヌ
リンゴとテーブルクロス
1879-80年頃 25.7×44.2 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Paul Cézanne (1839-1906)
Pommes et linge
Oil on canvas

012

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
長い髪をした若い娘(あるいは麦藁帽子の若い娘)
1884年 55.6×46.0 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Pierre-Auguste Renoir (1841-1919)
La jeune fille aux longs cheveux
(Jeune fille au chapeau de paille)
Oil on canvas

013

カミーユ・ピサロ
窓から見たエラニーの通り、ナナカマドの木
1887年 55.7×46.0 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Camille Pissarro (1830-1903)
La rue à Eragny vue de la fenêtre, le sorbier
Oil on canvas

014

クロード・モネ
草原の夕暮れ
1888年 80.2×80.5 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Claude Monet (1840-1926)
Le soir dans la prairie, Giverny
Oil on canvas

015

エミール・ベルナール
ポンタヴェンの市場
1888年 72.5×91.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館

Émile Bernard (1868-1941)
Marché de Pont-Aven
Oil on canvas

016

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
麦藁帽子の若い娘
1889-90年頃 47.3×39.4 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Pierre-Auguste Renoir (1841-1919)
Femme au chapeau de paille
Oil on canvas

020

ポール・セリュジエ
森の中の焚火
1889-90年頃 92.0×73.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館

Paul Sérusier (1864-1927)
Autour du feu dans la forêt
Oil on canvas

2 NOIR——ルドンの黒

024 ◇

オディロン・ルドン
浅瀬(小さな騎馬兵のいる)
1865年 17.7×13.4 cm エッチング、ドライポイント／紙
岐阜県美術館

Odilon Redon (1840-1916)
Le Gué (avec petits cavaliers)
Etching and drypoint on paper

025 ◆

オディロン・ルドン
二人の小さな騎馬兵
1865年 9.8×8.0 cm エッチング、ドライポイント／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Les deux petits cavaliers
Etching and drypoint on paper

026 ◆

オディロン・ルドン
雷雲の下の騎馬兵
1866年 5.9×13.8 cm エッティング／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Cavalier sous un ciel d'orage
Etching on paper

027 ◆

オディロン・ルドン
戦闘
1865年 5.8×13.2 cm エッティング／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Bataille
Etching on paper

028 ◆

オディロン・ルドン
永遠を前にした男
1870年頃 18.5×22.5 cm 黒鉛／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Un homme devant l'éternité
Graphite on paper

029 ◆

オディロン・ルドン
守護天使
制作年不詳 24.1×32.7 cm 黒鉛／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
L'Ange gardien
Graphite on paper

030 ◆

オディロン・ルドン
樹(樹のある風景の中の二人の人物)
1865年頃 38.1×31.5 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
L'Arbre, dit aussi Deux personnages dans un paysage boisé
Charcoal on paper

031 ◆

オディロン・ルドン
曲がりくねった樹
制作年不詳 32.4×30.5 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
L'Arbre tortu
Charcoal on paper

032 ◆

オディロン・ルドン
絶対の探求…哲学者
1880年 43.2×35.2 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Souci d'absolu Philosophe
Charcoal on paper

033 ◆

オディロン・ルドン
骸骨
1880年頃 52.0×37.0 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
La Squelette
Charcoal on paper

034 ◆

オディロン・ルドン
顯現
制作年不詳 46.2×33.0 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Apparition
Charcoal on paper

035 ◆

オディロン・ルドン
沼の花
1880-85年頃 51.2×35.0 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Fleur de marais
Charcoal on paper

036 ◆

オディロン・ルドン
気球
1883年 50.0×35.0 cm 木炭、黒チョーク／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Le Ballon
Charcoal and black chalk on paper

037 ◆

オディロン・ルドン
ダブル・プロフィル
制作年不詳 25.7×20.7 cm ペン、木炭／紙
岐阜県美術館(田口コレクション)
Odilon Redon (1840-1916)
Double Profil
Ink and charcoal on paper

038 ◆

オディロン・ルドン
手稿
1894年頃 97.8×77.5 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Le Manuscrit
Charcoal on paper

039 ◆

オディロン・ルドン
悲嘆
1893年頃 51.5×37.0 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
La douleur
Charcoal on paper

040 ◆

オディロン・ルドン
月桂冠をかぶった女の横顔
制作年不詳 44.0×30.5 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Profil de femme avec couronne de lauriers
Charcoal on paper

041 ◆

オディロン・ルドン
窓辺の女
1890年代 48.3×36.8 cm 木炭／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Femme à la fenêtre
Charcoal on paper

042 ◆

オディロン・ルドン
女の像
制作年不詳 26.9×21.0 cm 墨、ペン／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
La figure d'une femme
Chinese ink and ink on paper

044 bis ◆

オディロン・ルドン
『夢のなかで』 VIII. 幻視
1879年 27.4×19.8 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20110183
Odilon Redon (1840-1916)
Dans le rêve, VIII. Vision
Lithograph on paper

045 bis ◆

オディロン・ルドン
『ゴヤ頌』 II. 沼の花、悲しげな人間の顔
1885年 27.8×20.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20110187
Odilon Redon (1840-1916)
Hommage à Goya, II. La FLEUR du MARÉCAGE une tête humaine et triste
Lithograph on paper

046 bis ◆

オディロン・ルドン
『夜』 I. 老年に
1886年 24.7×18.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20110192
Odilon Redon (1840-1916)
La Nuit, I. à la VIEILLESSE
Lithograph on paper

048 bis ◆

オディロン・ルドン
『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出に)』 VI. 日の光
1891年 21.0×15.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20110204
Odilon Redon (1840-1916)
Songes (À la mémoire de mon ami Armand Clavaud), VI. LE JOUR
Lithograph on paper



画家=版画家
トゥールーズ=ロートレック

051

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
スケッチする画家
1880年頃 12.9×20.5 cm 鉛筆／紙
ワシントン、フィリップス・コレクション

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
L'artiste devant son sujet
Pencil on paper
The Phillips Collection, Washington, D.C.
Gift of Marjorie Phillips, 1985.

054

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『ルイ13世風の椅子のリフレイン』
(アリストイド・ブリュアンのキャバレーにて)
1886年 78.4×50.4 cm コンテ、油彩／紙
公益財團法人 ひろしま美術館
Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Le Refrain de la chaise Louis XIII au cabaret d'Aristide Bruant
Conté and oil on paper

056 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュにて、ラ・グーリュとその姉
1892年 47.4×36.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060002

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Au Moulin Rouge, la Goulue et sa sœur
Lithograph on paper

056 bis ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュにて、ラ・グーリュとその姉
1892年 66.2×48.1 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060001

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Au Moulin Rouge, la Goulue et sa sœur
Lithograph on paper

057 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュのイギリス人
1892年 62.7×48.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060003

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
L'Anglais au Moulin Rouge
Lithograph on paper

057 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュのイギリス人
1892年 61.4×48.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060004

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
L'Anglais au Moulin Rouge
Lithograph on paper

060

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アリストイド・ブリュアン、彼のキャバレーにて
1893年 138.2×98.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aristide Bruant, dans son cabaret
Lithograph on paper

061

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アリストイド・ブリュアン
1893年 81.2×105.0 cm グワッシュ、油彩／紙
公益財團法人 ひろしま美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aristide Bruant
Gouache and oil on paper

4

1894年 パリの中のタヒチ、 フランスの中の日本—絵画と 版画、芸術と装飾

018

カミーユ・ピサロ
エラニーのロックおばさんの農園
1893年 54.8×65.5 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託

Camille Pissarro (1830-1903)
La cour et le verger de la mère Rocque, Éragny
Oil on canvas

019

ベルト・モリゾ
若い女性と子供
1894年 61.5×50.5 cm 油彩／画布
公益財團法人 ひろしま美術館

Berthe Morisot (1841-1895)
Jeune femme et enfant
Oil on canvas

047 ◇

オディロン・ルドン
蜘蛛
1887年 27.7×21.7 cm リトグラフ／紙
岐阜県美術館

Odilon Redon (1840-1916)
Araignée
Lithograph on paper

049 ◇

オディロン・ルドン
眼をとじて
1890年 31.3×24.0 cm リトグラフ／紙
岐阜県美術館

Odilon Redon (1840-1916)
Yeux clos
Lithograph on paper

050 ◆

オディロン・ルドン
眼をとじて
1890年 29.5×23.7 cm リトグラフ／紙
岐阜県美術館

Odilon Redon (1840-1916)
Yeux clos
Lithograph on paper

055 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ
1891年 193.8×119.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Moulin Rouge, La Goulue
Lithograph on paper

058 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
エルドラド、アリストイド・ブリュアン
1892年 144.3×98.9 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Eldorado, Aristide Bruant
Lithograph on paper

059 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
悦楽の女王
1892年 147.9×97.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Reine de Joie
Lithograph on paper

062 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アリストイド・ブリュアン
1893年 81.0×59.7 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060241

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aristide Bruant
Lithograph on paper

062 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アリストイド・ブリュアン
1893年 81.4×61.1 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060242

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aristide Bruant
Lithograph on paper

063 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
コーデュー
1893年 127.3×92.1 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Caudieu
Lithograph on paper

064 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ディヴァン・ジャヤボネ
1893年 80×61.9 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Divan Japonais
Lithograph on paper

065-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ロイ・フラー嬢
1893年 38.1×28.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060022

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Miss Loie Fuller
Lithograph on paper

065-2 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ロイ・フラー嬢
1893年 38.2×28.2 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060023

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Miss Loie Fuller
Lithograph on paper

066 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『昔語り』扉絵
1893年 44.7×63.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Les Vieilles Histoires, couverture-frontispice
Lithograph on paper

067 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
金色の怪人面のある棧敷席
1893年 49.9×32.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Loge au mascaron doré
Lithograph on paper

068-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
婦人帽子屋ルネ・ヴェール
1893年 51.6×32.7 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060006

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Modiste, Renée Vert
Lithograph on paper

068-2 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
婦人帽子屋ルネ・ヴェール
1893年 51.5×32.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060007

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Modiste, Renée Vert
Lithograph on paper

068-3 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
婦人帽子屋ルネ・ヴェール
1893年 52.1×32.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060008

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Modiste, Renée Vert
Lithograph on paper

069 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュにて、「仏露同盟」
1893年 46.4×31.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Au Moulin Rouge : L'Union Franco-Russe
Lithograph on paper

070 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ムーラン・ルージュの舞踏会
1893年 38.3×56.2 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Une Redoute au Moulin Rouge
Lithograph on paper

071 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジャヌ・アヴリル(ジャルダン・ド・パリ)
1893年 130.4×94.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Jane Avril (Jardin de Paris)
Lithograph on paper

072-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『レスタンプ・オリジナル』第1年次のための表紙
1893年 56.5×64.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20100083

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Couverture pour la première année de
L'Estampe originale
Lithograph on paper

072-1 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『レスタンプ・オリジナル』誌、表紙
1893年 57.6×82.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060005

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Couverture de *L'Estampe originale*
Lithograph on paper

072-2 ◇

アンリ・ラシュー
『レスタンプ・オリジナル』装飾パネル
1893年 48.5×29.8 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri Rachou (1855-1944)
L'Estampe originale, Panneau décoratif
Lithograph on paper

072-3 ◆

オディロン・ルドン
『レスタンプ・オリジナル』耳の細胞
1893年 26.9×25.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Odilon Redon (1840-1916)
L'Estampe originale, Cellule auriculaire
Lithograph on paper

072-4 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『レスタンプ・オリジナル』アンバサドゥールにて
1894年 30.5×24.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20100084

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
L'Estampe originale, Aux Ambassadeurs
Lithograph on paper

072-4 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アンバサドゥールにて、カフェ・コンセールの女歌手
1894年 55.0×43.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060058

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aux Ambassadeurs - Chanteuse au café-concert
Lithograph on paper

072-4 ter ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
アンバサドゥールにて、カフェ・コンセールの女歌手
1894年 58.4×43.2 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060059

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Aux Ambassadeurs - Chanteuse au café-concert
Lithograph on paper

072-5 ◆

カミーユ・マルタン
『レスタンプ・オリジナル』第2年次の表紙
1894年 57.1×85.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Camille Martin (1861-1898)
Couverture décorative pour la deuxième année
de *L'Estampe originale*
Lithograph on paper

072-6 ◇

カミーユ・ピサロ
『レスタンプ・オリジナル』オスニー風景
1894年 11.6×15.7 cm ドライポイント／紙
三菱一号館美術館

Camille Pissarro (1830-1903)
L'Estampe originale, Paysage à Osny
Drypoint on paper

072-7 ◇

フェリックス・ヴァロットン
『レスタンプ・オリジナル』入浴
1894年 18.2×22.5 cm 木版／紙
三菱一号館美術館 20100087

Félix Vallotton (1865-1925)
L'Estampe originale, Le bain
Woodcut on paper

072-7 bis ◆

フェリックス・ヴァロットン
入浴
1894年 18.1×22.4 cm 木版／紙
三菱一号館美術館 20120128

Félix Vallotton (1865-1925)
Le bain
Woodcut on paper

072-8 ◆

カミーユ・ピサロ
『レスタンプ・オリジナル』水浴の女たち
1895年 15.4×22.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Camille Pissarro (1830-1903)
L'Estampe originale, Baigneuses
Lithograph on paper

072-9 ◇

オディロン・ルドン
『レスタンプ・オリジナル』仏陀
1895年 31.5×25.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Odilon Redon (1840-1916)
L'Estampe originale, Le buddha
Lithograph on paper

072-10 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『レスタンプ・オリジナル』最終号の表紙
1895年 58.8×82.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20100085

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Couverture pour l'album de clôture de
L'Estampe originale
Lithograph on paper

072-10 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『レスタンプ・オリジナル』誌(終刊号)、表紙
1895年 60.3×86.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060093

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Couverture de *L'Estampe originale* (album de
clôture)
Lithograph on paper

073 ◇

ポール・ゴーギャン
洗濯女たち
1889年 20.8×26.3 cm ジンコグラフ／紙
岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)
Les lavaises
Zincograph on paper

074 ◆

ポール・ゴーギャン
ステファーヌ・マラルメの肖像
1891年 18.5×14.3 cm
エッ칭、ドライポイント、エングレーヴィング／紙
岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)
Portrait de Stéphane Mallarmé
Etching, drypoint and engraving on paper

075-3 bis ◇

フェリックス・ヴァロットン
『息づく街パリ』II. 歌う人々
1893年 21.5×31.5 cm ジンコグラフ／紙
三菱一号館美術館 20120012

Félix Vallotton (1865-1925)
Paris Intense, II. Les Chanteurs
Zincograph on paper

075-4 bis ◇

フェリックス・ヴァロットン
『息づく街パリ』III. ブタ箱送り
1893年 22.0×31.4 cm ジンコグラフ／紙
三菱一号館美術館 20120013

Félix Vallotton (1865-1925)
Paris Intense, III. Au Violon
Zincograph on paper

075-5 bis ◆

フェリックス・ヴァロットン
『息づく街パリ』IV. 切符売り場
1893年 21.9×31.2 cm ジンコグラフ／紙
三菱一号館美術館 20120014

Félix Vallotton (1865-1925)
Paris Intense, IV. Deuxième Bureau
Zincograph on paper

075-8 bis ◆

フェリックス・ヴァロットン
『息づく街パリ』VII. にわか雨
1894年 22.6×31.3 cm ジンコグラフ／紙
三菱一号館美術館 20120017

Félix Vallotton (1865-1925)
Paris Intense, VII. L'avverse
Zincograph on paper

ポール・ゴーギャン

真珠のついた偶像

1892-93年 22.8×12.5×11.0 cm ブロンズ

公益財団法人 ひろしま美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

Idole à la perle

Bronze

078-1A ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』ナヴェナヴェ・フェヌア(かぐわしき大地)

1893-94年 35.5×20.4 cm 自摺り／木版、手彩色／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, NAVENAVE FENUA (Terre délicieuse)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-1B ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』ナヴェナヴェ・フェヌア(かぐわしき大地)

1893-94年 35.5×20.8 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, NAVENAVE FENUA (Terre délicieuse)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-1C ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』ナヴェナヴェ・フェヌア(かぐわしき大地)

1893-94年 35.5×20.5 cm ポーラ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, NAVENAVE FENUA (Terre délicieuse)

Tirage de Pola Gauguin / Woodcut on paper

078-2A ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』ノアノア(かぐわしい)

1893-94年 35.8×20.4 cm 自摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, NOANOÀ (Embaumé, embaumé)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-2B ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』ノアノア(かぐわしい)

1893-94年 35.7×20.5 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, NOANOÀ (Embaumé, embaumé)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-3A ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』マーナ・ノ・ヴァルア・イノ(悪霊の日)

1893-94年 20.2×35.6 cm 自摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, MAHNA NO VARUA INO

(Le Diable parle)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-3B ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』マーナ・ノ・ヴァルア・イノ(悪霊の日)

1893-94年 20.5×35.5 cm 自摺り／木版、補彩／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, MAHNA NO VARUA INO

(Le Diable parle)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-3 bis ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』マーナ・ノ・ヴァルア・イノ(悪霊の日)

1893-94年 20.6×35.3 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, MAHNA NO VARUA INO

(Le Diable parle)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-4A ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』テ・ボ(大いなる夜)

1893-94年 20.5×35.5 cm 自摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, TE PO (La grande Nuit)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-4B ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』テ・ボ(大いなる夜)

1893-94年 20.5×36.1 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, TE PO (La grande nuit)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-5 ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』宇宙創造

1893-94年 20.5×35.5 cm 自摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, L'Univers est créé

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-5 bis ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』宇宙創造

1893-94年 20.5×35.6 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, L'Univers est créé

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-6 ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』テ・アトゥア(神々)

1893-94年 20.4×35.5 cm

おそらく画家とルイ・ロワの共同制作による試し摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, Te Atua (Les Dieux)

Tirage de l'artiste et Louis Roy / Woodcut on paper

078-6 bis ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』テ・アトゥア(神々)

1893-94年 20.5×36.1 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, Te Atua (Les Dieux)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

078-7A ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』マナオ・トゥバババウ

(彼女は死靈のことを考えている)

1893-94年 20.5×35.5 cm 自摺り／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, Manao tupapau (Elle pense au revenant)

Tirage de l'artiste / Woodcut on paper

078-7B ◇

ポール・ゴーギャン

『ノアノア』マナオ・トゥバババウ

(彼女は死靈のことを考えている)

1893-94年 20.4×35.7 cm ルイ・ロワ版／木版／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

NOANOÀ, Manao tupapau (Elle pense au revenant)

Tirage de Louis Roy / Woodcut on paper

079 ◇

ポール・ゴーギャン

十字架の下のマグダラのマリア

1894年 16.1×18.1 cm 水彩によるモノタイプ／紙

岐阜県美術館

Paul Gauguin (1848-1903)

Madeleine, - Maria Magdalena unter dem Kreuz

Watercolour monotype on paper

080 ◇

フェリックス・ヴァロットン

自殺

1894年 22.6×18.0 cm 木版／紙

三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)

Le Suicide

Woodcut on paper

081 ◇

フェリックス・ヴァロットン

処刑

1894年 14.9×25.0 cm 木版／紙

三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)

L'Exécution

Woodcut on paper

082 ◇

フェリックス・ヴァロットン

狼狽

1894年 18.0×22.6 cm 木版／紙

三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)

L'Emoi

Woodcut on paper

083 ◇

フェリックス・ヴァロットン

婦人帽子屋

1894年 17.8×22.4 cm 木版／紙

三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)

La Modiste

Woodcut on paper

084 ◇◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック

『イヴェット・ギルペール』

1894年 40.8×78.6 cm (二つ折り:表紙) リトグラフ／紙

三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)

Yvette Guilbert

Lithograph on paper

085 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック

「ピエロにはコロンビーヌ」のイヴェット・ギルペール

1894年 41.0×24.7cm リトグラフ／紙

三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)

Yvette Guilbert, dans Colombine à Pierrot

Lithograph on paper

086 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
イヴェット・ギルベル
1894年 43.5×31.8 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Yvette Guilbert
Lithograph on paper

087 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
コンフェッティ
1894年 57.4×44.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Confetti
Lithograph on paper

088 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『ドイツのバビロン』
1894年 127.8×90.2 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Babylon d'Allemagne
Lithograph on paper

089 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
メイ・ベルフォール
1895年 80.7×60.9 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
May Belfort
Lithograph on paper

090

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
メイ・ベルフォール
1895年 54.6×42.2 cm リトグラフ／紙
ワシントン、フィリップス・コレクション
Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
May Belfort
Lithograph on paper
The Phillips Collection, Washington, D.C.

091 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
マルセル・ランデール嬢、胸像
1895年 38.5×28.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Mademoiselle Marcelle Lender, en buste
Lithograph on paper

092 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
メイ・ミルトン
1895年 80.0×62.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060249

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
May Milton
Lithograph on paper

092 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
メイ・ミルトン
1895年 80.4×62.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060248

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
May Milton
Épreuve d'essai de la pierre de trait
Lithograph on paper

093 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌
1895年 129×92.9 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Revue Blanche
Lithograph on paper

094-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『ザ・チャップ・ブック』誌
1895年 41.4×59.8 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
The Chap Book
Lithograph on paper

094-2 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『ザ・チャップ・ブック』誌
1895年 43.3×62.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
The Chap Book
Lithograph on paper

095 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
エグランティーヌ嬢一座
1896年 61.5×80.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060255

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Troupe de Mademoiselle Eglantine
Lithograph on paper

095 bis ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
エグランティーヌ嬢一座
1896年 64.4×80.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館 20060254

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Troupe de Mademoiselle Eglantine
Hors tirage de la pierre de trait
Lithograph on paper

096 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
54号室の女船客
1896年 63.8×49.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Passagère du 54
Lithograph on paper

097 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
シンプソンのチェーン
1896年 87.2×124.7 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
La Chaîne Simpson
Lithograph on paper

098 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
マイケルの自転車
1896年 89.3×127.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Cycle Michaël
Lithograph on paper

099 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』(ポスター)
1896年 65.0×49.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles
Lithograph on paper

100-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』表紙
1896年 68.2×108.6 cm(二つ折り) リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Couverture pour *Elles*
Lithograph on paper

100-2 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』座る女道化師—シヤ=ユ=カオ嬢
1896年 53.3×40.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, La Clownesse assise
—Mademoiselle Cha-U-Kao
Lithograph on paper

100-3 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』盆を持つ女—朝食(パロン夫人とボボ嬢)
1896年 40.5×53.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme au plateau – Petit déjeuner,
Madame Baron et Mademoiselle Popo
Lithograph on paper

100-4 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』横たわる女—目覚め
1896年 40.6×52.8 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme couchée – Réveil
Lithograph on paper

100-5 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』行水の女—たらい
1896年 40.4×52.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme au tub – Le tub
Lithograph on paper

100-6 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』体を洗う女—身繕い
1896年 52.8×40.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme qui se lave – La toilette
Lithograph on paper

100-7 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』鏡を見る女—手鏡
1896年 52.3×40.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme à glace – La glace à main
Lithograph on paper

100-8 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』髪を梳る女—髪結い
1896年 52.1×40.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme qui se peigne – La coiffure
Lithograph on paper

100-9 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』寝台の女、横顔—朝の目覚め
1896年 41.0×53.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme au lit, profil – Au Petit lever
Lithograph on paper

100-10 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』コルセットの女—東の間の征服
1896年 52.8×40.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme en corset – Conquête de passage
Lithograph on paper

100-11 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
『彼女たち』仰向けの女—倦怠
1896年 40.0×52.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Elles, Femme sur le dos – Lassitude
Lithograph on paper

101 ◇

フェリックス・ヴァロットン
怠惰
1896年 17.8×22.1 cm 木版／紙
三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)
La Paresse
Woodcut on paper

102-1 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 あひる
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de
Jules Renard, Canards
Lithograph on paper

102-2 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 蜘蛛
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de
Jules Renard, L'Escargot
Lithograph on paper

102-3 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 蜘蛛
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de Jules
Renard, L'Araignée
Lithograph on paper

102-4 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 ひき蛙
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de
Jules Renard, Le Crapaud
Lithograph on paper

102-5 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 牛
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de
Jules Renard, Le Bœuf
Lithograph on paper

102-6 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジュール・ルナール『博物誌』挿絵 ろば
1899年刊行 1897年 31.6×22.6 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Illustration pour *Histoires Naturelles* de
Jules Renard, L'Ane
Lithograph on paper

103 ◆

フェリックス・ヴァロットン
『アンティミテ』版本破棄証明のための刷り
1898年 18.8×22.8 cm 木版／紙
三菱一号館美術館

Félix Vallotton (1865-1925)
*Intimités, éprouve justificative de la destruction
des bois composée dix fragements*
Woodcut on paper

104 ◇

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
展覧会の招待状
1898年 26.5×21.5 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Invitation à une exposition
Lithograph on paper

105 ◆

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
ジャヌ・アヴリル
1899年 55.9×38.1 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)
Jane Avril
Lithograph on paper

5
東洋の宴

008

山本芳翠(嘉永3年-明治39年)
若い娘の肖像
1880(明治13)年頃 61.0×43.7 cm 油彩／画布
岐阜県美術館

Hosui Yamamoto (1850-1906)
Portrait of a Young Lady
Oil on canvas

009

山本芳翠(嘉永3年-明治39年)
裸婦
1880(明治13)年頃 83.0×134.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館【重要文化財】

Hosui Yamamoto (1850-1906)
Nude
Oil on canvas

010 bis ◇

山本芳翠
ジュディット・ゴーティエ『蜻蛉集』挿画
1884年刊行(明治17年刊行) 33.0×25.0 cm 仮縫じ本
三菱一号館美術館

Hosui Yamamoto (1850-1906)
Judith Gautier, *Poèmes de la Libellule*

017

黒田清輝(慶応2年-大正13年)
摘草
1891(明治24)年 126.3×92.5 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Seiki Kuroda (1866-1924)
Gathering Herbs
Oil on canvas

021

藤島武二(慶応3年-昭和18年)
浴室の女
1906-07(明治39-40)年頃 48.8×32.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Takeji Fujishima (1867-1943)
Woman in a Bathroom
Oil on canvas

022

藤島武二(慶応3年-昭和18年)
書見する女
1910(明治43)年 60.8×50.5 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Takeji Fujishima (1867-1943)
Woman Reading
Oil on canvas

023

梅原龍三郎(明治21年-昭和61年)
読書
1911(明治44)年 73.8×61.0 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Ryuuzaburo Umehara (1888-1986)
Reading
Oil on canvas

106-1 ◇

浅井忠(安政3年-明治40年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』
王師入遼東
1895(明治28)年 15.5×24.3 cm 水彩、ペン／紙
岐阜県美術館
Chu Asai (1856-1907)
In the Memory of a Banquet, picture album by
regular members of Meiji fine arts society,
Imperial Army Enters Liaodong
Watercolour, ink on paper

106-2 ◇

小山正太郎(安政4年-大正5年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』
野津中将青石闕ヲ過ク
1894(明治27)年 15.2×24.1 cm 水彩、ペン／紙
岐阜県美術館
Shotaro Koyama (1857-1916)
In the Memory of a Banquet, picture album by
regular members of Meiji fine arts society,
Lieutenant General Nozu Passes Qingshi guan
Watercolour, ink on paper

106-3 ◇

原田直次郎 (文久3年-明治32年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』風景
1895(明治28)年 15.0×10.2 cm 水彩／紙
岐阜県美術館
Naojiro Harada (1863-1899)
In the Memory of a Banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, Landscape
Watercolour on paper

106-4 ◇

山本芳翠 (嘉永3年-明治39年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』金州(錦州)
1895(明治28)年 17.5×27.5 cm 淡彩／絹
岐阜県美術館

Hosui Yamamoto (1850-1906)
In the Memory of a Banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, At Jin zhou
Pigment on silk

106-5 ◆

岡田三郎助 (明治2年-昭和14年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』積藁
1895(明治28)年 14.5×21.4 cm 水彩、ペン／紙
岐阜県美術館
Saburosuke Okada (1869-1939)
In the Memory of a Banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, Haystacks
Watercolour, ink on paper

106-6 ◆

久米桂一郎 (慶応2年-昭和9年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』猿橋首夏
1895(明治28)年 23.3×16.1 cm 水彩／紙
岐阜県美術館
Keiichiro Kume (1866-1934)
In the Memory of a Banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, Saruhashi, Early Summer
Watercolour on paper

106-7 ◆

合田清 (文久2年-昭和13年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』
威海衛ノ進撃
(黒田清輝原画)
1895(明治28)年 20.3×27.4 cm 木版／紙
岐阜県美術館
Kiyoshi Goda (1862-1938)
In the memory of a banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, Attack at Wei-hai-wei (Original Painting by Seiki Kuroda)
Woodcut on paper

106-8 ◆

波々伯部捨四郎 (文久2年-昭和5年)
明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』
伯爵伊藤博文君肖像
制作年不詳 31.9×24.2 cm リトグラフ／紙
岐阜県美術館
Suteshiro Hahakabe (1862-1930)
In the Memory of a Banquet, picture album by regular members of Meiji fine arts society, Portrait of Count Hirobumi Ito
Lithograph on paper

108

山本芳翠 (嘉永3年-明治39年)
浦島
1893-95(明治26-28)年頃 122.0×168.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Hosui Yamamoto (1850-1906)
Urashima (Old Japanese Folktale)
Oil on canvas

110

青木繁 (明治15年-明治44年)
海
1904(明治37)年 22.8×31.8 cm 油彩／板
岐阜県美術館 寄託
Shigeru Aoki (1882-1911)
Seascape
Oil on board

6

近代——彼方の白光

043 ◆

オディロン・ルドン
花の枠組みの中の左向きの横顔
1890年代 47.9×35.8 cm 木炭、チョーク、黒鉛／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Profil gauche dans un encadrement floral
Charcoal, chalk and graphite on paper

124

クロード・モネ
プティ・タイイの岬、ヴァランジュヴィル
1897年 73.8×92.6 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Claude Monet (1840-1926)
Pointe du Petit Ailly, Varengeville
Oil on canvas

125

ポール・セザンヌ
座る農夫
1897年頃 55.0×46.0 cm 油彩／画布
公益財團法人 ひろしま美術館
Paul Cézanne (1839-1906)
Paysan assis
Oil on canvas

126 ◆

ポール・ゴーギャン
人物のいるマルケサス諸島の風景 または「楽園」
1902年頃 30.1×54.7 cm 水彩によるモノタイプ／紙
岐阜県美術館
Paul Gauguin (1848-1903)
Paysage des Marquises avec un personnage ou 'Le Paradis'
Watercolour monotype on paper

127

ポール・セリュジエ
急流のそばの幻影 または妖精たちのランデマー
1897年 111.0×182.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Paul Sérusier (1864-1927)
La vision près du torrent, ou Le rendez-vous des fées
Oil on canvas

128

オディロン・ルドン
快方に向かうアムール
1894年頃 46.0×38.0 cm 油彩／紙(画布で裏打ち)
個人蔵
Odilon Redon (1840-1916)
L'Amour convalescent
Oil on paper (lined on canvas)
Paris, collection particulière (Daniel Malingue)

129

オディロン・ルドン
神秘的な対話
1896年頃 65.0×46.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Entretien mystique
Oil on canvas

130 ◆

オディロン・ルドン
女漁師
制作年不詳 60.0×45.0 cm パステル／紙
岐阜県美術館(田口コレクション)
Odilon Redon (1840-1916)
La pêcheuse
Pastel on paper

131 ◇

オディロン・ルドン
まなざし
1889-94年頃 28.0×23.5 cm
パステル、木炭、チョーク／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Le regard
Pastel, charcoal and chalk on paper

132 ◇

オディロン・ルドン
翼のある横向きの胸像(スフィンクス)
1898-1900年頃 71.2×54.8 cm
パステル、木炭、白チョーク／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Buste ailé en profil (Sphinx)
Pastel, charcoal and white chalk on paper

133 ◇

オディロン・ルドン
ポール・ゴビヤールの肖像
1900年 52.0×46.0 cm パステル／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Portrait de Paule Gobillard
Pastel on paper

134

オディロン・ルドン
オフィーリア
1901-02年頃 57.7×48.8 cm 油彩／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Ophélie
Oil on paper

135 ◆

オディロン・ルドン
青い花瓶の花々
1904年頃 47.0×60.5 cm パステル／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Fleurs dans un vase bleu
Pastel on paper

136 ◆

オディロン・ルドン
小舟
1904年頃 63.7×52.6 cm パステル／紙
三菱一号館美術館 寄託
Odilon Redon (1840-1916)
Barque
Pastel on paper

137 ◇

オディロン・ルドン
黒い花瓶のアネモネ
1905年頃 64.8×57.5 cm パステル／紙
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Vase noir aux anémones
Pastel on paper

138

オディロン・ルドン
アプロンの戦車
1906-07年頃 65.0×81.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Le Char d'Apollon
Oil on canvas

139

オディロン・ルドン
弓を持つケンタウロス
制作年不詳 27.0×22.2 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Le Centaure à l'arc
Oil on canvas

140

オディロン・ルドン
グラン・ブーケ(大きな花束)
1901年 248.3×162.9 cm パステル／画布
三菱一号館美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Grand Bouquet
Pastel on canvas

141

オディロン・ルドン
オリヴィエ・サンセールの屏風
1903年 169.2×222.0 cm
デトランプ、油彩、グワッシュ／画布
岐阜県美術館
Odilon Redon (1840-1916)
Paravent d'Olivier Sainsère
Tempera (Distemper) and Oil on canvas

142

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
パリの審判
1908年 81.0×101.0 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Pierre-Auguste Renoir (1841-1919)
Le Jugement de Pâris
Oil on canvas

143

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
泉
1910年頃 91.5×73.8 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Pierre-Auguste Renoir (1841-1919)
La Source
Oil on canvas

144

モーリス・ドニ
なでしこを持つ若い女
1896年 74.0×46.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Maurice Denis (1870-1943)
La jeune fille à l'aïillet
Oil on canvas

145

ポール・セリュジエ
消えゆく仏陀—オディロン・ルドンに捧ぐ
1916年 50.7×46.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Paul Séruzier (1864-1927)
Le Bouddha englouti - Hommage à Odilon Redon
Oil on canvas

146

アンリ・ル・シダネル
月下の川沿いの家
1920年 73.0×92.0 cm 油彩／画布
岐阜県美術館
Henri Le Sidaner (1862-1939)
Maison sur la rivière, au clair de lune
Oil on canvas

147

エドモン＝フランソワ・アマン＝ジヤン
婦人・秋
1923年 168.5×181.3 cm 油彩／画布
三菱一号館美術館 寄託
Edmond-François Aman-Jean (1858-1936)
L'adieu aux hirondelles
Oil on canvas

148-1 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』表紙
1899年 41.5×34.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Couverture de l'album
Lithograph on paper

148-2 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』中庭をかこむ家
1899年 34.5×26.0 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Maison dans la cour
Lithograph on paper

148-3 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』上から見た町
1899年 36.5×22.7 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Rue vue d'en haut
Lithograph on paper

148-4 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』野菜売り
1899年 29.5×34.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Marchand des quatre-saisons
Lithograph on paper

148-5 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』橋
1899年 26.2×40.7 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris, Le pont
Lithograph on paper

148-6 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』劇場にて
1899年 20.7×39.9 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris, Au théâtre
Lithograph on paper

148-7 ◆

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』夕暮れの雨の町
1899年 25.6×35.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館
Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Rue, le soir, sous la pluie
Lithograph on paper

148-8 ◇

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』凱旋門
1899年 30.7×46.3 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
L'Arc de Triomphe
Lithograph on paper

148-9 ◆

ピエール・ボナール
『パリ生活の小景』上から見た街角
1899年 36.7×21.4 cm リトグラフ／紙
三菱一号館美術館

Pierre Bonnard (1867-1947)
Quelques aspects de la vie de Paris,
Coin de rue vue d'en haut
Lithograph on paper

会場案内図

1894 Visions ルドン、ロートレック展

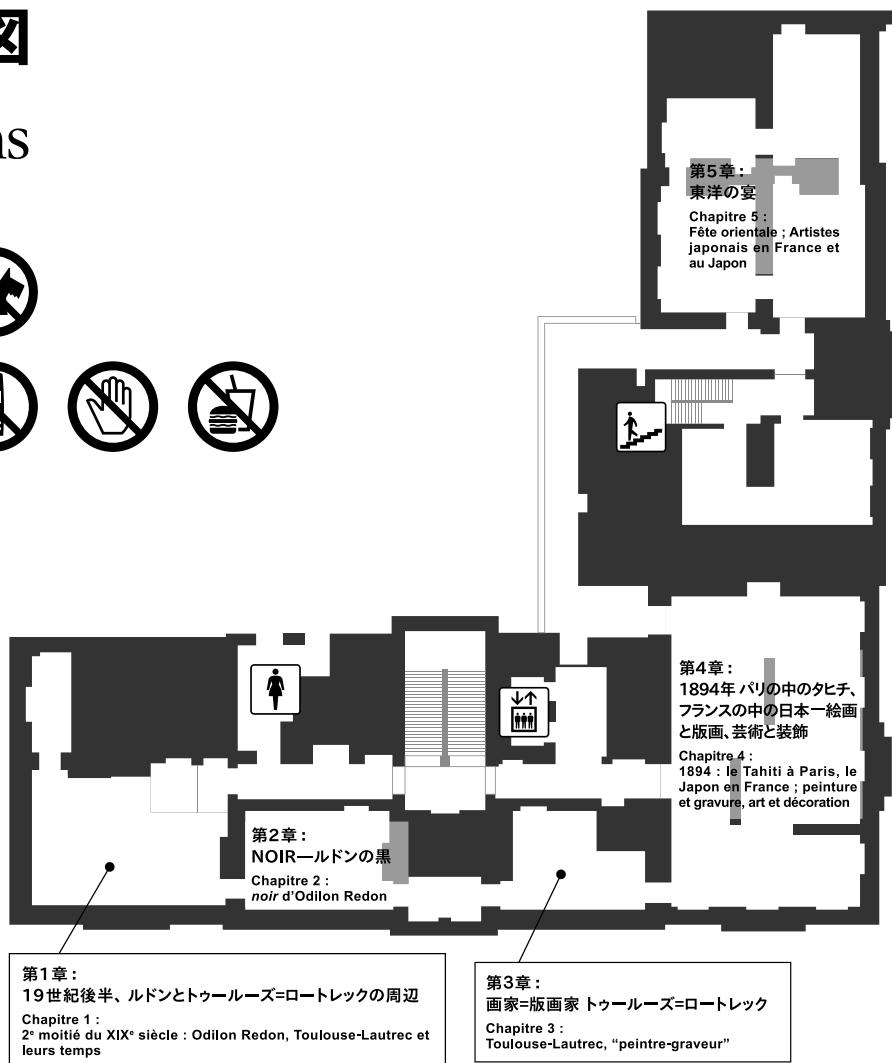
全館
Building



展示室
Exhibition



3F



2F



三菱一号館美術館の教育普及活動

理念

- ・美術に親しみ、美術への理解を深める。
- ・本物の作品と直接触れる機会を促し、感性を高める。
- ・美術の鑑賞を通じて、考える機会を大切にし、創造力や生きる力を育む。

特色

- ・街に開かれた美術館として、誰もが参加・アクセスできる多面的な活動を展開する。
- ・館内におけるプログラムにとどまらず、館外でも活動を展開する。
- ・丸の内の歴史、建築空間、展示作品など、三菱一号館美術館の魅力や特性を引き出し、鑑賞者の美術館体験を深める。

当館の教育普及プログラム

当館では「都市生活の中心としての美術館」として、街や人に開かれた美術館活動を目指しています。

街で働く人々に向けた活動

オフィス街・丸の内にある美術館として、街で働く人々にも、もっと美術館を利用してほしい。そのような思いから、近隣のオフィスワーカーが美術・アートに触れ合い、美術館を感じられるような活動を行っています。

❖ オンライン・トークイベント

「三菱一号館から始まった丸の内のまちづくり」

当館では「都市生活の中心としての美術館」という運営ミッションの元、「都市と美術館」というテーマで、当館開館5周年の2015年から継続してレクチャーを開催しています。



レクチャーの様子

2020年は当館開館10周年の他、三菱一号館を設計したジョサイア・コンドルの没後100年、三菱地所設計創業130年という周年が重なる年でした。そこで、改めて「三菱一号館」と「丸の内」、そして三菱一号館と丸の内形成の立役者でもあるコンドルについて振り返るオンライン・トークイベントを実施しました。

講師には実際に三菱一号館の復元に携わった野村和宣氏をお迎えし、復元の経緯やこだわりを伺いました。

日時：2021年3月16日（火）14：00～15：30

講師：野村和宣氏

（株式会社三菱地所設計 執行役員 建築設計
三部長・デザイングループ業務部長）

Education Programs

Philosophy

- Increase familiarity with and deepen appreciation of art.
- Provide opportunities for first hand contact with works of art, heightening sensibilities.
- Through appreciation of art, value opportunities to think and foster creativity and élan vital.

Distinctive Features

- As a museum open to the community, offer multifaceted activities for all to participate and access.
- Provide programs both within and out of the museum.
- Providing visitors with a profound museum experience that draws out the appeal of the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo through history of Marunouchi, architecture and exhibited artworks.

❖ Marunouchi Office workers and Fan's NIGHT [MOF NIGHT]

2020年度は新型コロナウィルス感染症の拡大により、オンラインでイベントを開催いたしました。時世を鑑み、脳科学者・中野信子氏をお招きし「アートのオンラインでの体験」についてお伺いする講演会や、「おうち時間」でもアートを楽しむ試みとしてオディロン・ルドン作品の世界観をテーマとしたお弁当づくりの動画配信などを行いました。※詳細は7、17頁参照



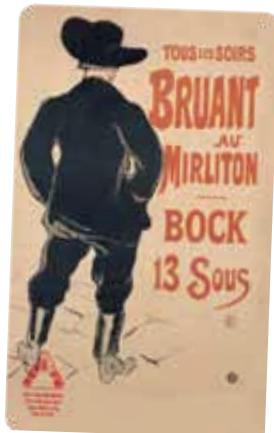
三菱一号館美術館×チオベン
山本千織さんの「ルドン弁当」

MSS(三菱一号館美術館サポーター制度)

「MSS」(三菱一号館美術館サポーター制度)は、三菱一号館美術館の活動を支援し、芸術文化を盛り上げていくことを目的としています。サポーターの皆さまは、当館をご支援いただき、さまざまな特典を受けることができます。



MSS カード



MSS-mini カード

ご本人とご同伴者1名が1年間何度でもご入館可能な「MSS」とご本人のみがご利用いただける「MSS-mini」を販売しております。さまざまなライフスタイルのお客様が、例えばランチタイムや仕事帰りのリフレッシュ、お気に入りの作品を何度もご覧になるなど、多様化する働き方やそれぞれの生活のシーンに合わせてご利用いただけております。また、ギフトとしてもご利用いただけますので、大切な方にアートの時間をプレゼントすることもできます。特典の詳細は当館WEBサイトをご覧ください。

<https://mimt.jp/mss/>

MSS特典について

- ・ サポーターカード提示でご本人と同伴者1名が無料。(何度でも利用可能。MSS-miniはご本人のみ)
- ・ サポーター限定・貸切鑑賞会実施。
- ・ サポーター限定・会員専用ページ閲覧可能。
　　お得情報や、展覧会開始前にいち早く「館長対談」をお届け。(「館長対談」は、展覧会開始後は当館サイトにて一般公開となります)
- ・ Café1894でお食事・デザート注文時にサポーターカード提示でコーヒーまたは紅茶1杯サービス。(同伴者1名まで利用可。MSS-miniはご本人のみ)
- ・ その他サポーターカード提示で提携施設での特典を受けられます。

Café 1894

コロナウイルス感染者増加に伴い、2020年4月4日より暫くの間、臨時休業となりました。6月9日より営業再開しましたが、お客様に安心してご利用頂けるよう、手指の消毒、検温、フィジカルディスタンスの確保、空気の入れ換える為に入り口の開放などして、営業しております。また、人気のアフタヌーンティーは当面の間、中止とさせていただいております。

展覧会タイアップメニュー

美術館内にあるミュージアムカフェ・バー「Café 1894」では、展覧会とタイアップしたメニューをご提供しています。



「開館10周年記念 画家が見たこども展—ゴッホ、ボナール、ヴュイヤール、ドニ、ヴァロットン」のタイアップランチ「夢のお子さまランチ」



「開館10周年記念 1894 Visions ルドン、ロートレック展」のタイアップデザート「おとなのグランブーケ」



毎年秋に飾っている
装飾をリニューアル
しました。

Store 1894

美術館内にあるミュージアムショップ「Store 1894」では、展覧会毎に、展覧会にちなんだオリジナル・関連グッズを販売しています。



「開館10周年記念 画家が見たこども展—ゴッホ、ボナール、ヴュイヤール、ドニ、ヴァロットン」
肩から掛けられて、こどももおとなも使えるサコッシュです。5種類のうち4種類は、1枚ずつ、職人が丁寧にシルクスクリーンでハンドプリント、残りの1種類は、国内有数の最先端技術をつかったフルカラープリントです。

開館10周年企画

三菱一号館美術館は2020年4月6日に開館10周年を迎えました。同日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言下で臨時休館しており、各種記念イベントは中止を余儀なくされました。不要不急の外出を控える状況の中、ご自宅でもお楽しみいただける記念Webサイトを公開したほか、緊急企画として公式Twitterで10年分の展覧会を振り返る投稿を行うなど、オウンドメディアを活用し10周年を盛り上げました。また、美術館が再開となった2020年8月には、2020年4月6日に予定していた10周年記念トークイベントをオンラインで開催。また2020年10月には、周年企画の内容を一部変更し、リアル会場とオンラインの両方で幅広くお客様にお楽しみいただけたキャンペーンも実施しました。

1. 10周年記念WEB企画 「わたしだけの三菱一号館美術館」

①10周年記念サイト公開

三菱一号館美術館10周年記念サイトを制作し、「展覧会入場者数ベスト5」やポスターで振り返る「全31種のポスター」、建物と歴史にフォーカスした「三菱一号館について」など、これまでの当館の歩みを振り返るコンテンツを掲載。また、作家・角田光代さんのエッセイや女優・黒柳徹子さんと館長のスペシャル対談、さらに一般のお客様からのお寄せいただいた御祝メッセージを公開するなど、10周年にふさわしい充実の内容をお届けしました。

②10周年記念WEB企画 「わたしだけの三菱一号館美術館」実施

「わたしだけの三菱一号館美術館」は、10周年記念サイトのデザインと各種コンテンツを、誰でもカスタマイズできる企画です。好みにアレンジされたサイトをSNSでシェアし、お楽しみいただきました。



2. 10周年記念復活企画

復活企画① 開館10周年記念オンライントークイベント 「プレイバック三菱一号館美術館」

当館の開館記念展「マネとモダン・パリ」(2010年開催)をご覧になり、美術に目覚めたというアイドルの和田彩花さんをお迎えし、三菱一号館美術館館長の高橋明也(2020年9月退任)と10年分の展覧会を振り振り返るオンライントークイベントを開催しました。

イベント概要

開催日時：8月25日（火）20:00～21:15
出演者：和田彩花（アイドル）、
高橋明也（三菱一号館美術館館長）
モデレーター：Tak（アートブログ「青い日記帳」主宰）
開催方法：Zoomウェビナーを利用した
オンライン配信
参加費：1,000円（税込）



復活企画② うれしい1週間限定販売：展覧会タイアップデザート人気No.1が復活！

当館併設のミュージアムカフェ・バーCafé1894が2012年から始めた展覧会タイアップデザートの中から、歴代人気No.1で、TVでも取り上げられたメニュー「秘密の花園～グラン・ブーベ仕立て」を1週間限定で特別に復活し、好評を得ました。

【期間限定企画】

2018年開催「ルドン—秘密の花園」展タイアップデザート秘密の花園～グラン・ブーベ仕立て 990円（税込）



販売期間：8月25日（火）～30日（月）
販売時間：14:00～17:00
提供数：167食

3. Thanks 10th キャンペーン

キャンペーン1

「1894Visions ルドン、ロートレック展」来場者大抽選会

「開館10周年記念 1894Visions ルドン、ロートレック展」にご来場いただいたお客様に、10周年オリジナルグッズが当たる大抽選会を開催。また、ご来場いただいたお客様全員に、10周年記念ノベルティ(一筆箋)をプレゼントしました。

開催日時：2020年10月29日(木)、30日(金)、31日(土)
開館時間中

景品：

- 一等 10周年記念重箱 + 10周年記念冊子 (5名様)
- 二等 10周年記念ポーチ + 10周年記念冊子 (20名様)
- 三等 10周年記念ハンカチ + 10周年記念冊子 (100名様)
- 四等 10周年記念ボールペン + 10周年記念冊子 (200名様)

キャンペーン2

Thanks 10th Twitter キャンペーン

三菱一号館美術館一号館Twitter(@ichigokan_PR)をフォローの上、Thanks 10th キャンペーン情報をリツイートした人の中から抽選で5名様にオリジナル重箱をプレゼントしました。感染症拡大下において、当館にお越しいただけない方にもご参加いただけるよう企画しました。

フォロー&リツイート期間：

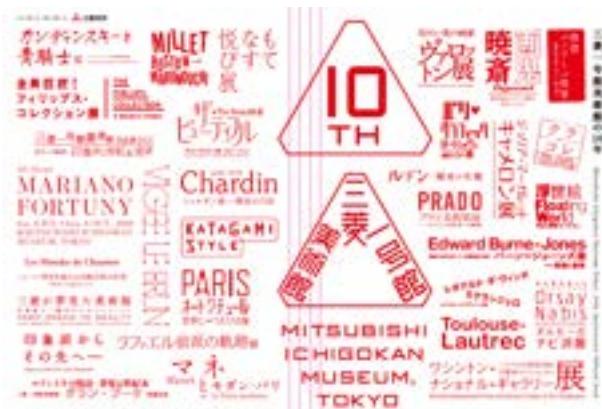
10月15日(木)～11月30日(月)まで募集。



4. 10周年記念冊子の作成

三菱一号館美術館が開館した2010年からの10年の歩みをまとめた冊子を作成しました。

当館で開催した展覧会を振り返ると共に、今後当館に期待することをこれまで当館とご縁のあった方々からのメッセージやインタビューも掲載しています。



5. ブランドスローガンをテーマに短編小説を発表

三菱一号館美術館の開館10周年を記念して、作家の角田光代さんに当館のブランドスローガンである〈新しい私に出会う、三菱一号館美術館〉より〈新しい私に出会う〉をテーマに短編小説を執筆いただき、WEBサイトで展開しました。(全三話)

三菱一号館美術館10周年ロゴ

三菱一号館美術館のロゴをデザインしていただいた服部一成さんに10周年ロゴを制作していただきました。

【服部一成さんのコメント】

三菱一号館美術館のロゴは、特徴ある三角形の中に館の名を収めて、シンボルとしています。10周年を迎えて、「10th」の文字をなかに配した同じ三角形を、館名ロゴのとなりに加えました。記念すべきこの1年、ふたつ並んだ三角形のロゴがさまざまな場面で活躍してくれることを願っています。

(グラフィックデザイナー 服部一成)



三菱一号館美術館10周年グッズ

「実用的でビジネスシーンでも利用できるもの」をコンセプトに10周年のロゴを入れて3点のグッズを製作しました。

【製作グッズ】

- ・10周年ロゴ入りポーチ
- ・10周年ロゴ入りガーゼハンカチ
- ・10周年ロゴ入りフリクション
3色ボールペン

歴史資料室特別展示

歴史資料室は、旧三菱一号館の40分の1の模型や映像によって、三菱一号館復元の経緯や丸の内の歴史を伝えるコーナーです。

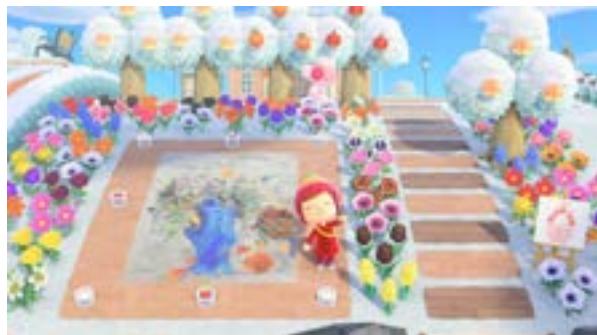
「括弧に入れるための全て」2020年2月25日～2月27日
「アートアワードトーキョー丸之内2019」*の三菱地所賞受賞者、芦川瑞季さんの個展を2020年2月25日から3月13日の予定で準備を進めましたが、新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のために、2020年2月28日より臨時休館になりました。



※「アートアワードトーキョー丸の内」(a.a.t.m)は、若手アーティストの発掘・育成を目的に2007年から開催され、2019年で13回目を迎えました。全国の主要な美術大学・大学院の卒業制作から選抜した作品を展示し、審査員による最終審査を実施し、グランプリや審査員賞などを決定しています。三菱地所賞として2012年より、受賞者の作品を丸の内エリアで展示する機会を設けています。

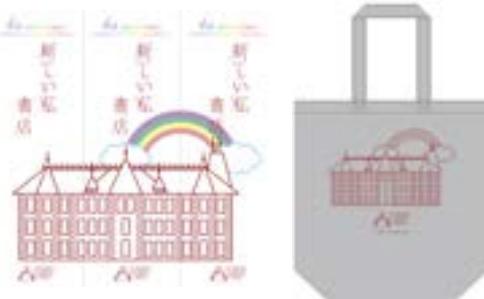
「あつまれ どうぶつの森」にて当館作品画像の公開やバーチャルミュージアムの試みを実施しました

長引くコロナ禍の影響もあり大人気となったNintendo Switch「あつまれ どうぶつの森」にて、国内のミュージアムとして初めてゲーム内に作品画像をDLできるQRコードを公開。5月1日の公開以降、SNSを中心に好評を得ただけでなく、当館発「#あつ森で飾ろう」のハッシュタグに参加したミュージアムは全国の16館に広がりました。「みつびしいちごうかん島」として島の公開もを行い、当館の建物を模した家に作品を飾ることで、ゲーム内でバーチャルミュージアムとしての試みも実施しました。緊急事態宣言の影響で一時は美術館が開館できない状況となったものの、オンラインを通じて当館の活動を届けられる機会となりました。



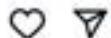
「新しい私書店」4周年記念 本と美術館を巡るスタンプラリー実施

当館がWEBサイト上で展開する架空の本屋さん「新しい私書店」(<https://mimt.jp/book/>)は、開設4周年を記念して、3月2日～4月6日の期間、4周年を記念したしおりを美術館と協力書店にて配布、三菱一号館美術館、紀伊國屋書店 大手町ビル店、丸善 丸の内本店をめぐるスタンプラリーも実施しました。



新型コロナ感染症による休館中の 日仏英三か国語作品解説インスタグラム発信

2020年1月、新型コロナ感染症が日本へ上陸したころ、当館ではちょうど「画家が見たこども展」の展示作業が行われていた。その直後に急速に国内での感染が拡大、国内外でミュージアムの休館が相次ぐ中、当館も2月28日に臨時休館に入った。美術館の扉は閉じられてはいたものの、館内には国内外から借用した作品が開館時と同じ状態で残されており、職員からは、再開館できることを願いつつ、それまでの間、展覧会のことを忘れないでいてほしいと、館内で眠る作品の紹介をインスタグラム上で行うことになった。この展覧会の監修者は南仏ル・カネのボナール美術館の館長であったことから、日本語だけでなくフランス語訳、更には英語の訳もつけようということとなり、臨時休館開始後の3月18日から再開館直前の6月8日までの間、合計で39本の三か国語での作品紹介を行った。



いいね！: museebonnard、他1,145人

mitsubishi_ichigokan_museum ここはパリの通り。官憲がけて大勢の子どもたちが集まっています。よく見れば官憲のそばには身なりの悪い男がひとり。悪さをして捕まったこの男を、子どもたちがはやし立てているのです。子どもたちは大口をあけて叫んでいたり、薄笑いを浮かべていたり。天使どころか悪魔…少し怖さを感じます。世の中を斜めに見るヴァロットンの真骨頭。パリの街に子どもたちの姿が早く戻りますように！
フェリックス・ヴァロットン《可愛い天使たち》1894年
木版・紙 三菱一号館美術館

This is a street in Paris. A lot of children are rushing to the authority. If you take a look at the center, there is a man with dirty clothes next to him. Some children are making fun of this man who



星野源「うちで踊ろう」による所蔵品紹介動画公開

2019年に始まった謎の感染症は瞬く間に世界へと広まり、2月頃より世界中のミュージアムが休館し始めた。当館も諸々の状況を鑑み、2月28日の金曜日、「画家が見たこども展」の会期のさなかに休館に入り、結局6月8日の月曜日までの長期休館となった。この間、4月7日に政府より緊急事態宣言が発出され、当館のある丸の内でも人影が消え、美術館職員もほぼ全員が自宅勤務となった。長期間にわたり、政府から「不要不急」の外出を止められるという未曾有の状況の中、「読書チャレンジ」など、閉塞感に苦しむ人々がSNS上などで共有したい内容を次々と知り合いへと繋いでいくさまざまな試みが展開し、そうした中、著名アーティストの演奏や演劇が無料で公開されるといった、これまでにない活動も展開された。

こうした著名人による活動で、世界中の賛同を得たものの一つが、星野源による「うちで踊ろう」である。星野源作詞作曲の同曲を、星野源自らがアコースティックギターに載せて歌い、スマートフォンで動画撮影してSNS上で公開する、というものである。公開されるや否や、

日本のみならず、海外へも拡散、同曲に載せてさまざまな動画が作成、公開された。中にはプロのオーケストラの団員がそれぞれの自宅から演奏し、壮大なオーケストレーションとなったものまであった。

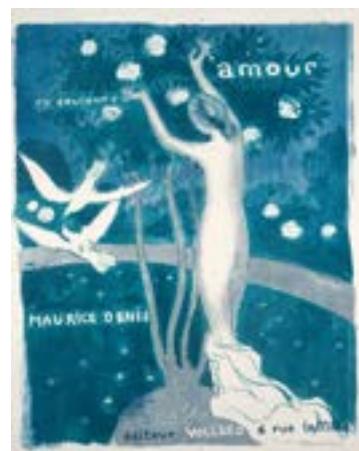
当館でも、美術館に来られない、展覧会を見られないアートファンのために何かをしたい、ということになり、当館所蔵品の画像をつなぎ合わせ、美術館職員による手作り動画を作成し、SNS上で公開した。使用された作品は、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック、フェリックス・ヴァロットン、モーリス・ドニなどである。いずれも歌詞と合致するような内容が描かれた作品を使用した。ツイッターで公開されたのは6月11日、最終的に再生は3万回以上、1600以上の「いいね」がつくという、異例の支持を得た。



フェリックス・ヴァロットン《愉快なカルティエ・ラタン》
1895年 木版・紙 inv.20120134



アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《メイ・ベルフォール》
1895年 リトグラフ・
洋紙 inv.20060246



モーリス・ドニ
《『アムール(愛)』表紙》
1898年 リトグラフ・
紙 inv.20100108

思いやりウィーク

2020年12月4日～10日

障がいの有無にかかわらず、お互いに譲り合い、思いやりの心を持って美術作品が与える感動を共有できる環境づくりを目指す目的で、12月4日～10日の人権週間に合わせ、「思いやりウィーク」を設定しました。

2020年度は新型コロナウィルス感染症拡大の状況を考慮し、オンラインからも参加できる取組を検討しました。そこで、分身ロボット「OriHime」を通して、参加者ご本人と、遠くにいる方や外出しづらい方が、一緒に展覧会を鑑賞するプログラムとし、12月4日(金)、8日(火)に開催しました。

当日は、参加者同士で分身ロボットを通して、まるでその場で一緒に鑑賞されているかのように楽しくお話しされ、「外出ができない状況でも、大好きな美術館に来られて嬉しかった」との感想をいただきました。「誰もがどこででも楽しめる」、遠隔鑑賞の可能性を再確認する機会となりました。



東京駅周辺美術館連携

新型コロナウイルス感染拡大防止により、一部の美術館にて割引対応等に中止・変更が生じたため、定期的に発行していた「東京駅周辺美術館MAP」の制作を中止しました。

また、感染拡大の影響で各館展覧会の一部に中止、会期変更が生じ、2020年東京駅周辺美術館共通券の有効期限を2021年末まで延長しました。

さらに、2016年から毎年開催していた共同企画「EDO TOKYO NIPPON アートフェス」も中止となりました。

三菱創業の岩崎家ならびに 三菱ゆかりの文化施設

新型コロナウイルス感染拡大防止により、一部の美術館にて割引対応等に中止・変更が生じたため、相互割引を中止しました。

コロナ禍での中止、延期

企画展

「三菱の至宝展」

2020年7月8日～9月22日

→ 会期延期:2021年6月30日～9月12日

開館10周年記念イベント

開館記念日トークイベント

「プレイバック三菱一号館美術館」【チャプター1】

4月6日18:30～19:30

→ 開催中止

開館記念日トークイベント

「プレイバック三菱一号館美術館」【チャプター2】

4月6日20:30～21:30

→ 開催延期:2021年8月25日20:00～21:15

東京駅周辺美術館連携

「東京駅周辺美術館MAP」(年二回発行)

→ 制作中止

共同企画「EDO TOKYO NIPPON アートフェス」
(2016年から定期開催)

→ 開催中止

「東京駅周辺美術館 共通券」(年一回発行)

→ 利用期間延長

三菱ゆかりの文化施設連携

東洋文庫、静嘉堂文庫美術館と三菱一号館美術館、3館間での相互割引

→ 利用中止

企業会員一覧

株式会社三菱UFJ銀行
三菱重工業株式会社

三菱商事株式会社

三菱UFJニコス株式会社

三菱電機株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

明治安田生命保険相互会社
三菱H C キャピタル株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社
キリンホールディングス株式会社

AGC株式会社
株式会社協栄
株式会社竹中工務店
三菱食品株式会社
コクヨ株式会社

ENEOSホールディングス株式会社
東京センチュリー株式会社
高砂熱学工業株式会社
株式会社オカムラ
株式会社関電工

東京海上日動火災保険株式会社
SMBC日興証券株式会社
株式会社西原衛生工業所
株式会社野村総合研究所
KPMGコンサルティング株式会社

三菱ケミカル株式会社
三菱倉庫株式会社
大成建設株式会社
前田建設工業株式会社
斎久工業株式会社
ALSOK東京株式会社
グローブシップ株式会社
株式会社日立ビルシステム
中央日本土地建物株式会社
株式会社電通国際情報サービス
東銀リース株式会社

日本郵船株式会社
みずほリース株式会社
清水建設株式会社
株式会社きんでん
新菱冷熱工業株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社九電工
株式会社ユアテック
第一生命保険株式会社
有限責任あづさ監査法人

三菱マテリアル株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社大林組
株式会社弘電社
三菱電機ビルテクノサービス株式会社
第一工業株式会社
郵船ロジスティクス株式会社
戸田建設株式会社
みずほ証券株式会社
株式会社丸の内よろず

有限責任監査法人トーマツ
株式会社三菱総合研究所
株式会社三菱ケミカルホールディングス
株式会社アルファパーク
東光電気工事株式会社
能美防災株式会社
PwCあらた有限責任監査法人
信越化学工業株式会社
木内建設株式会社
株式会社神戸製鋼所
株式会社NTTドコモ
三菱ガス化学株式会社
株式会社内田洋行
株式会社鉄鋼ビルディング
三菱製紙株式会社
東京商事株式会社
株式会社フジタ
株式会社モリモト
塚本總業株式会社
東洋不動産プロパティマネジメント株式会社
東京地下鉄株式会社
三信株式会社
フェニックス・キャピタル株式会社
東急リバブル株式会社
司法書士法人丸の内レジストリイ
オークラヤ不動産株式会社
東宝土地株式会社
株式会社四電工

株式会社パソナグループ
株式会社ピーエス三菱
三菱製鋼株式会社
東テク株式会社
三菱自動車工業株式会社
株式会社大気社
YKK AP株式会社
ヤマト運輸株式会社
株式会社シー・アイ・シー
双日株式会社
日本文教出版株式会社
ホーチキ株式会社
NTT都市開発株式会社
富国生命保険相互会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
ダイヤオフィスシステム株式会社
三菱UFJ個人財務アドバイザーズ株式会社
大和不動産鑑定株式会社
株式会社IHIビジネスサポート
株式会社丹青社
東洋ビルメンテナンス株式会社
株式会社大同
ヨシモトボール株式会社
アズビル株式会社
小田急電鉄株式会社
国際自動車株式会社
株式会社ローソン
株式会社共立フーズサービス

株式会社フジクラ・ダイヤケーブル
三菱化工機株式会社
小岩井農牧株式会社
株式会社城口研究所
京和商事株式会社
株式会社グッドフェローズ
三井住友建設株式会社
永和不動産株式会社
東京ガス株式会社
株式会社ニコン
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
株式会社文藝春秋
国際興業株式会社
株式会社トウモローランド
IHI運搬機械株式会社
岩崎通信機株式会社
有限会社東京共同会計事務所
株式会社ビジネスコンサルタント
株式会社丹青ディスプレイ
東京建物株式会社
TOTO株式会社
古河機械金属株式会社
株式会社メタルワン
有限会社サカキラボ
東リ株式会社
株式会社ランドネット
ソニーマーケティング株式会社
匿名5社

(2021年3月31日現在)

三菱地所株式会社 美術館室

館長	木村 恵司
室長	河野 安紀
ユニットリーダー(企画)	西本 龍生
ユニットリーダー(運営)	安達 憲瑞

企画ユニット

学芸グループ長	西本 龍生
学芸副グループ長	安井 裕雄
学芸員	野口 玲一
学芸員	阿佐美淑子
学芸員	加藤 明子
学芸員	杉山菜穂子
学芸員	岩瀬 慧
展覧会マネジメント担当	平田 雅
展覧会マネジメント担当	佐々木悠希子
展覧会マネジメント担当	小野瀬聰美
展覧会マネジメント担当	渡辺 苑子

運営ユニット

管理・運営担当	梅谷 尚美
管理・運営担当 教育普及担当	石神 森
教育普及担当 美術館広報担当	前田麻奈実
展覧会・美術館広報担当	酒井 英恵
展覧会・美術館広報担当	後藤夕紀子
展覧会・美術館広報担当	福士 貴子
総務担当	児玉 覚生
総務担当 ストア担当	齋藤 以子
総務担当 カフェ担当	内田 晶子
総務担当	大野 遥
総務担当	小松みどり

2021年3月末現在

2020年度 三菱一号館美術館 年報 第11号

2023年5月 発行

三菱一号館美術館

〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-6-2

編集：三菱一号館美術館

ANNUAL REPORT OF MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO
APRIL 2020 - MARCH 2021
No.11

Published by Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo
2-6-2, Marunouchi, Chiyoda-Ku, Tokyo 100-0005, JAPAN

© Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, 2022